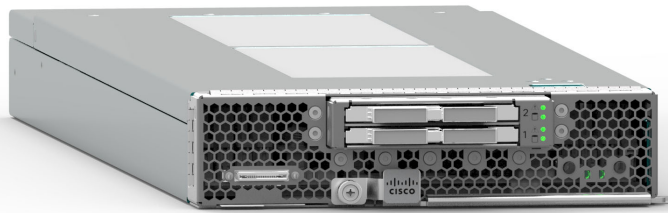


# Cisco UCS B200 M6 ブレードサーバ

このマニュアルの印刷版は単なるコピーであり、必ずしも最新版ではありません。最新のリリースバージョンについては、次のリンクを参照してください。

<https://www.cisco.com/c/en/us/products/servers-unified-computing/ucs-b-series-blade-servers/datasheet-listing.html>



<b>概要</b>	<b>3</b>
<b>詳細図</b>	<b>4</b>
ブレード サーバの正面図	4
<b>サーバ本体の標準機能と特長</b>	<b>5</b>
<b>サーバの構成</b>	<b>7</b>
ステップ 1 サーバ本体の型番を選択する	8
ステップ 2 CPU を選択する	9
ステップ 3 メモリを選択する	13
メモリ構成の特長とモード	15
ステップ 4 MLOM 背面メザニン アダプタを選択します	20
ステップ 5 オプションの背面メザニン アダプタ (VIC またはポート エクスパンダ) を選択します	22
ステップ 6 オプションの前面メザニン アダプタを選択する	24
ステップ 7 オプションのドライブを選択する	25
Intel® Virtual RAID on CPU (intel® VROC)	29
ステップ 8 トラステッド プラットフォーム モジュール を選択します	30
ステップ 9 UCSM ソフトウェアの選択	31
ステップ 10 オペレーティング システムと付加価値ソフトウェアを選択する	32
ステップ 11 オプションのリカバリ メディアを選択します	35
ステップ 12 サービス レベルとサポート レベルを選択する	36
Unified Computing Warranty (契約なし)	36
Cisco UCS 向け Smart Net Total Care (SNTC)	36
Cisco UCS 向け Smart Net Total Care オンサイト トラブルシューティング サービス	38
UCS 向けソリューション サポート	39
Smart Net Total Care for UCS Hardware Only Service	40
UCS のパートナー向け サポート サービス	41
UCS ハードウェア専用の PSS	42
Unified Computing Combined Support サービス	43
UCS Drive Retention サービス	44
UCS のローカル言語テクニカル サポート	44
<b>参考資料</b>	<b>45</b>
システム ボード	45
メモリ構成とミラーリング	46
メモリのミラーリング	48
第3世代 Intel®Xeon® スケーラブルプロセッサのメモリサポート (Ice Lake)	49
PMem のサポート	49
App Direct モード	49
メモリ モード	49
<b>スペア部品</b>	<b>50</b>
<b>CPU のアップグレードまたは交換</b>	<b>57</b>
<b>メモリのアップグレードまたは交換</b>	<b>58</b>
<b>販売終了 (EOL) 製品</b>	<b>60</b>
<b>技術仕様</b>	<b>61</b>
寸法と重量	61
電力仕様	61

## 概要

Cisco UCS B200 M6 ブレードサーバは、IT および Web インフラストラクチャや分散データベースなどのさまざまなワークロードで妥協のない優れた性能、汎用性、サーバ密度を実現します。

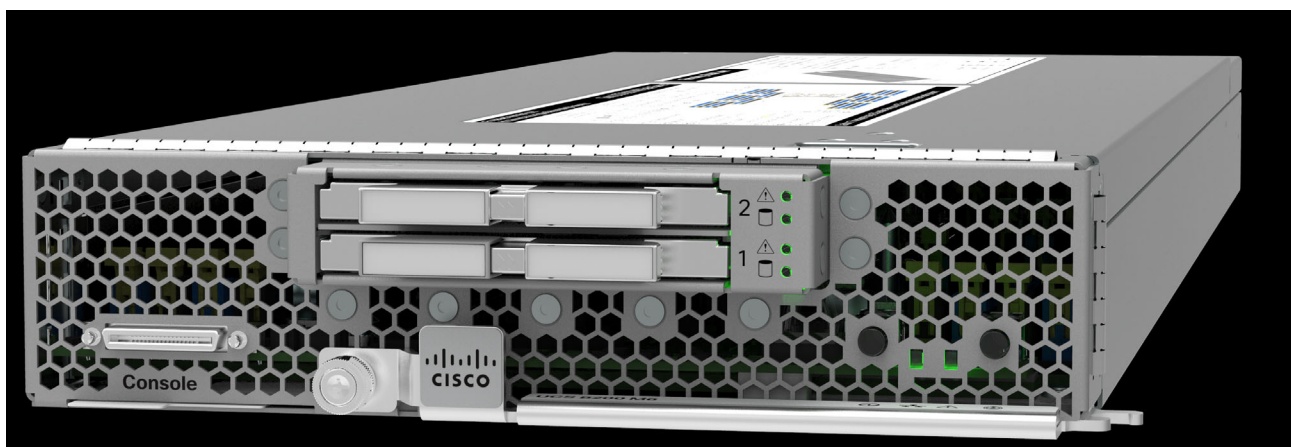
エンタープライズクラスの Cisco UCS B200 M6 ブレードサーバは、ハーフ幅のブレードフォームファクタで Cisco Unified Computing System ポートフォリオの機能を拡張します。Cisco UCS B200 M6 は、最新の第 3 世代 Intel®Xeon® スケーラブルプロセッサ (Ice Lake) の能力を活用します。

- CPU あたり最大 2 TB の RAM (128 GB DRAM X 16 を使用) または CPU あたり最大 5 TB (128 GB DRAM X 8 および 512 GB Intel®Optane™ パーシステント メモリ モジュール (PMem) X 8 を使用)
- 2 台のソリッドステートドライブ (SSD) または
- 2 台の PCIE NVMe ドライブ、または
- M.2 SATA ドライブを搭載可能なミニ ストレージ キャリア M.2 SATA ドライブを選択する場合は、UCS-M2-HWRAID が必要です。
- 最大 80 Gbps のスループット接続。

B200 M6 サーバは、一般的な B200 M5 サーバの後続サーバであり、次のものをサポートしています。

- 第 3 世代 Intel® Xeon® Scalable Processor (Ice Lake)
- 最大 128 GB の 3200 MHz DDR4 メモリ DIMM。
- メモリ スロットにすべて (32 X) 128 GB DDR4 DIMM が装着されている場合は合計 4 TB のメモリ (2 CPU 用)、メモリ スロットに 16 X 256 GB DDR4 DIMM と 16 X 512 GB PMem が装着されている場合は合計 10 GB のメモリが利用可能です。
- 前面メザニン ドーター カード オプション
  - 2 台の 2.5 インチ SAS/SATA SSD ドライブを搭載した 12G RAID コントローラ モジュール、または
  - 2 台の 2.5 インチ PCIe NVMe ドライブを備えたパススルー モジュール、または
  - 最大 4 台の M.2 SATA ドライブを搭載可能なミニ ストレージ キャリア M.2 SATA ドライブを選択する場合は、UCS-M2-HWRAID が必要です。

図 1 Cisco UCS B200 M6 ブレード サーバ

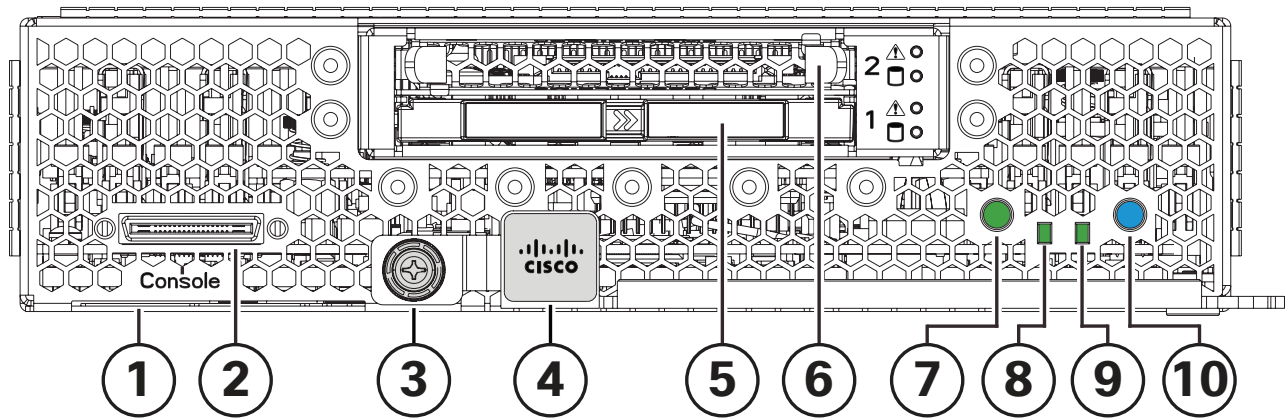


## 詳細図

### ブレード サーバの正面図

図 2 は、Cisco UCS B200 M6 ブレード サーバの詳細な正面図です。

図 2 ブレード サーバの正面図



1	アセット プル タグ 各サーバには、前面パネルから取り出すプラスチック製のタグがあります。このタグには、サーバのシリアル番号、製品 ID (PID)、およびバージョン ID (VID) が印字されています。このタグに、最適なエアフローを妨げることなく、独自のアセットトラッキングラベルを追加することもできます。	6	ドライブ ベイ 2 (未装着)
2	コンソール コネクタ <sup>1</sup>	7	電源ボタンおよび LED
3	イジェクタの取り付けネジ	8	ネットワーク リンク ステータス LED
4	ブレード イジェクタ ハンドル	9	ブレード状態 LED
[5]	ドライブ ベイ 1 (装着済み)	10	ロケート ボタンおよび LED

**注:**

1. KVM I/O ケーブルはコンソール コネクタに接続します。また、スペアとして発注できます。KVM I/O ケーブルは、すべての Cisco UCS 5100 シリーズ ブレード サーバ シャーシ アクセサリ キットに付属しています。

## サーバ本体の標準機能と特長

表 1 にサーバ本体の機能と特徴を示します。特定の機能（プロセッサ数、ディスクドライブ、メモリ容量など）に関するサーバの構成方法については、以下を参照してください [サーバの構成 ページ 7](#)。

表 1 機能と特長

機能 / 特長	説明
シャーシ	UCS B200 M6 ブレード サーバは、Cisco UCS 5108 シリーズ ブレード サーバ シャーシまたは UCS Mini ブレード サーバ シャーシに搭載できます。
CPU	1 台または 2 台の Intel® Xeon® Scalable Processor (Ice Lake)。また、B200 M6 ブレード サーバの BIOS では既定で Intel Advanced Encryption Standard New Instructions (AES-NI) のサポートが有効になっており、この機能を無効にするオプションはありません。
チップセット	Intel® C621A シリーズ チップセット (Lewisburg)
メモリ	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 合計 32 個の DIMM スロット</li> <li>■ アドバンスド ECC のサポート</li> <li>■ Registered ECC DIMM (RDIMM) のサポート</li> <li>■ Load-Reduced DIMM (LRDIMM) のサポート</li> <li>■ PMEM のサポート</li> <li>■ 最大 4 TB GB DDR4 DIMM メモリ容量 (32 x 128 GB DIMM)</li> <li>■ DIMM と PMEM を合わせて最大 10 TB のメモリ <ul style="list-style-type: none"> <li>• 16 x 256 GB DIMM、および</li> <li>• 16 x 512 GB PMEM</li> </ul> </li> </ul>
モジュラ LOM	Cisco mLOM VIC アダプタ用ブレードの背面のモジュラ型 LOM (mLOM) コネクタ X 1 (イーサネット接続または Fibre Channel over Ethernet (FCoE) 接続を提供)
メザニン アダプタ (背面)	背面メザニン コネクタ <ul style="list-style-type: none"> <li>■ シスコ メザニン VIC アダプタ、または</li> <li>■ Cisco メザニン ポート エクспанダ</li> </ul>
メザニンアダプタ (前面)	前面メザニンコネクタ x 1 (以下に対応) <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 2 台の SAS/SATA SSD ドライブ搭載の Cisco FlexStorage 12G RAID コントローラ または</li> <li>■ 2 台のドライブ搭載の Cisco FlexStorage NVMe パススルー モジュール</li> <li>■ 最大 4 台の M.2 SATA ドライブを搭載可能なミニストレージキャリア M.2 SATA ドライブを選択する場合は、UCS-M2-HWRAID が必要です。</li> </ul>

表 1 機能と特長 (続き)

機能 / 特長	説明
ストレージ コントローラ	<p>前面メザニン コネクタ用：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ ドライブ ベイ搭載の Cisco FlexStorage 12G RAID コントローラ モジュール</li> <li>■ ドライブ ベイ搭載の Cisco FlexStorage NVMe パススルー モジュール</li> </ul>
ストレージ デバイス	<p>次の 2 つの前面ドライブ ベイ：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 最大 2 台の 2.5 インチ SFF ソリッドステート ドライブ (それぞれ最大 7.6 TB の容量)</li> <li>■ 最大 2 台の 2.5 インチ PCIe NVMe ドライブ (それぞれ最大 6.4 TB の容量)</li> <li>■ 最大 2 基の HW-RAID モジュール (それぞれ 1 台または 2 台の 240 GB または 960 GB M.2 SATA ドライブに対応) M.2 SATA ドライブを選択する場合は、UCS-M2-HWRAID が必要です。</li> </ul>
ビデオ	<p>Cisco Integrated Management Controller (CIMC) は、Matrox G200e ビデオ / グラフィックス コントローラを使用してビデオを提供します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ ハードウェア アクセラレーションを備えた内蔵 2D グラフィックス コア</li> <li>■ DDR4 メモリ インターフェイスは最大 512 MB のアドレス可能メモリをサポートします (デフォルトで 8 MB がビデオ メモリに割り当てられます)</li> <li>■ 最大 1920 x 1200 32 bpp、60 Hz のディスプレイ解像度をサポート</li> <li>■ 第 2 世代の速度で動作するシングル レーン PCI-Express ホスト インターフェイス</li> </ul>
インターフェイス	前面パネルの KVM コンソール コネクタ X 1
電源サブシステム	Cisco UCS 5108 ブレード サーバ シャーシに内蔵
Fans	Cisco UCS 5108 ブレード サーバ シャーシに内蔵
組み込み管理プロセッサ	組み込みの Cisco Integrated Management Controller を使用すれば、サーバーのインベントリ、正常性、およびシステム イベント ログを監視できます。
ACPI	Advanced Configuration and Power Interface (ACPI) 6.2 標準規格をサポートしています。
UCSM	UCS Manager (UCSM) 4.2(1) 以降はファブリック インターコネクタ内で実行され、一部のサーバ コンポーネントを自動的に検出してプロビジョニングします。
CIMC	Cisco 統合管理コントローラ 4.2(1) 以降

## サーバの構成

次の手順に従って、Cisco UCS B200 M6 ブレード サーバを構成します。

- [ステップ 1 サーバ本体の型番を選択するページ 8](#)
- [ステップ 2 CPU を選択するページ 9](#)
- [ステップ 3 メモリを選択するページ 13](#)
- [ステップ 4 MLOM 背面メザニン アダプタを選択しますページ 20](#)
- [ステップ 5 オプションの背面メザニン アダプタ \(VIC またはポート エクスパンダ\) を選択しますページ 22](#)
- [ステップ 6 オプションの前面メザニン アダプタを選択するページ 24](#)
- [ステップ 7 オプションのドライブを選択するページ 25](#)
- [ステップ 8 トラステッド プラットフォーム モジュール を選択しますページ 30](#)
- [ステップ 9 UCSM ソフトウェアの選択ページ 31](#)
- [ステップ 10 オペレーティング システムと付加価値ソフトウェアを選択するページ 32](#)
- [ステップ 11 オプションのリカバリ メディアを選択しますページ 35](#)

## ステップ 1 サーバ本体の型番を選択する

サーバのベース型番 ID (PID) を確認します (表 2 を参照)。

表 2 ベース UCS B200 M6 ブレード サーバの PID

製品 ID (PID)	説明
UCS-M6-MLB	UCS M6 ラック、ブレード MLB このバンドル型番 (MLB) は、ブレード サーバ (UCSB-B200-M6) 型番とソフトウェアの型番で構成されます。この PID を使用して新しい設定を開始します。
UCSB-B200-M6 <sup>1</sup>	CPU、メモリ、ドライブ ベイ、ドライブ、VIC アダプタ、またはメザニン アダプタなしの UCS B200 M6 ブレード サーバ (ブレード シャーシと合わせて構成するサーバ型番)
UCSB-B200-M6-U <sup>1</sup>	CPU、メモリ、ドライブ ベイ、ドライブ、VIC アダプタ、またはメザニン アダプタなしの UCS B200 M6 ブレード サーバ (サーバ単独で構成)

### 注:

- この型番は、承認済みバンドル以外で購入することはできません (MLB で注文する必要があります)

表 2 で発注したベース Cisco UCS B200 M6 ブレード サーバは、コンポーネントまたはオプションを含みません。製品の構成で選択する必要があります。

後続のページの手順に従って、ブレードを機能させるのに必要な以下のコンポーネントを構成してください。

- CPU
- メモリ
- SAS または SATA SSD 向けドライブ ベイ搭載 (またはローカル ドライブをサポートしない場合はブランク) の Cisco FlexStorage RAID コントローラ
- PCIe NVMe ドライブ向けドライブ ベイ搭載の Cisco FlexStorage パススルー モジュール)
- SSD、PCIe、または SATA M.2 ドライブ (M.2 SATA ドライブを選択する場合は UCS-M2-HWRAID が必要)
- Cisco アダプタ (VIC 1440、VIC 1480、ポート エクスパンダ)



## ステップ 2 CPU を選択する

CPU の標準機能は次のとおりです。

- 第 3 世代 Intel® Xeon® Scalable Processor (Ice Lake)
- Intel® C621A シリーズ チップセット
- 最大 60 MB のキャッシュ サイズ
- 最大 40 コア

### CPU を選択する

使用可能な CPU を [表 3](#) に示します。CPU の接尾辞表記については、[表 4 \(11 ページ\)](#) を参照してください。

表 3 使用可能な CPU

製品 ID (PID)	クロック 周波数 GHz	消費電力 (W)	キャッシュ サイズ (MB)	コア	UPI <sup>1</sup> リンク (GT/s)	サポートする DDR4 DIMM の最大クロック (MHz) <sup>2</sup>	PMem のサポート
<b>8000 シリーズ プロセッサ</b>							
UCS-CPU-I8380	2.3	270	60	40	3 at 11.2	3200	はい
UCS-CPU-I8368	2.4	270	57	38	3 at 11.2	3200	はい
UCS-CPU-I8362	2.8	265	48	32	3 at 11.2	3200	はい
UCS-CPU-I8360Y	2.4	250	54	36	3 at 11.2	3200	はい
UCS-CPU-I8358P	2.6	240	48	32	3 at 11.2	3200	はい
UCS-CPU-I8358	2.6	250	48	32	3 at 11.2	3200	はい
UCS-CPU-I8352M	2.3	185	48	32	3 at 11.2	3200	はい
UCS-CPU-I8352Y	2.2	205	48	32	3 at 11.2	3200	はい
UCS-CPU-I8352V	2.1	195	54	36	3 at 11.2	2933	はい
UCS-CPU-I8352S	2.2	205	48	32	3 at 11.2	3200	はい
UCS-CPU-I8351N <sup>3</sup>	2.4	225	54	36	3 at 11.2	2933	はい
<b>6000 シリーズ プロセッサ</b>							
UCS-CPU-I6354	3.0	205	39	18	3 at 11.2	3200	はい
UCS-CPU-I6348	2.6	235	42	28	3 at 11.2	3200	はい
UCS-CPU-I6346	3.1	205	36	16	3 at 11.2	3200	はい
UCS-CPU-I6342	2.8	230	36	24	3 at 11.2	3200	はい
UCS-CPU-I6338N	2.2	185	48	32	3 at 11.2	2666	はい
UCS-CPU-I6338T	2.1	165	36	24	3 at 11.2	3200	はい
UCS-CPU-I6338	2.0	205	48	32	3 at 11.2	3200	はい
UCS-CPU-I6336Y	2.4	185	36	24	3 at 11.2	3200	はい

表 3 使用可能な CPU

製品 ID (PID)	クロック 周波数 GHz	消費電力 (W)	キャッシュ サイズ (MB)	コア	UPI <sup>1</sup> リンク (GT/s)	サポートする DDR4 DIMM の最大クロック (MHz) <sup>2</sup>	PMem のサポート
UCS-CPU-I6334	3.6	165	18	8	3 at 11.2	3200	はい
UCS-CPU-I6330N	2.2	165	42	28	3 at 11.2	2666	はい
UCS-CPU-I6330	2.0	205	42	28	3 at 11.2	2933	はい
UCS-CPU-I6326	2.9	185	24	16	3 at 11.2	3200	はい
UCS-CPU-I6314U <sup>4</sup>	2.3	205	48	32	0	3200	はい
UCS-CPU-I6312U <sup>5</sup>	2.4	185	36	24	0	3200	はい
<b>5000 シリーズ プロセッサ</b>							
UCS-CPU-I5320T	2.3	150	30	20	3 at 11.2	2933	はい
UCS-CPU-I5320	2.2	185	39	26	3 at 11.2	2933	はい
UCS-CPU-I5318N	2.1	150	36	24	3 at 11.2	2666	はい
UCS-CPU-I5318S	2.1	165	36	24	3 at 11.2	2933	はい
UCS-CPU-I5318Y	2.1	165	36	24	3 at 11.2	2933	はい
UCS-CPU-I5317	3.0	150	18	12	3 at 11.2	2933	はい
UCS-CPU-I5315Y	3.2	140	12	8	3 at 11.2	2933	はい
<b>4000 シリーズ プロセッサ</b>							
UCS-CPU-I4316	2.3	150	30	20	2 at 10.4	2666	いいえ
UCS-CPU-I4314	2.4	135	24	16	2 at 10.4	2666	はい
UCS-CPU-I4310T	2.3	105	15	10	2 at 10.4	2666	いいえ
UCS-CPU-I4310	2.1	120	18	12	2 at 10.4	2666	いいえ
UCS-CPU-I4309Y	2.8	105	12	8	2 at 10.4	2666	いいえ

## 注:

- UPI = Ultra Path インターコネクト
- 一部の CPU について、表 6 (14 ページ) に示すメモリアクセス速度よりも高速または低速な DIMM を選択した場合、DIMM のクロック速度は、CPU 側のメモリアクセスクロックと DIMM クロックのうちの低い方になります。
- UCS-CPU-I8351N CPU の最大数は 1
- UCS-CPU-I6314U CPU の最大数は 1
- UCS-CPU-I6312U CPU の最大数は 1 です

表 4 CPU サフィックス

CPU サフィックス	説明書	特長
N	最適化されたネットワークワーキング	L3 転送、5G UPF、OVS DPDK、VPP FIB ルータ、VPP IPsec、Web サーバ / NGINX、vEPC、vBNG、vCMTS などのネットワークアプリケーションでの使用に最適化されています。SKU は基本周波数が高く、TDP が低く、最適なパフォーマンス / ワットを実現します。
L	クラウド最適化	クラウド IaaS 環境向けに特別に設計された SKU は、制約された TDP でより高い周波数を提供します。
V	クラウド最適化	クラウド環境向けに特別に設計された SKU は、高いラック密度を実現し、TCO \$ あたりの VM / コアを最大化します。
電	High T ケース	Network Environment-Building System (NEBS) 環境向けに設計された SKU
U	1 ソケット最適化	コア、メモリ帯域幅、およびシングル プロセッサから利用可能な IO 容量によって適切に提供されるターゲットプラットフォーム向けに最適化
S	最大 SGX エンクリプション サイズ	最大 SGX エンクリプション サイズ (512GB) をサポートし、ワークロードまたはサービスの最も機密性の高い部分を強化および保護します
M	メディアと AI の最適化	メディア、AI、HPC セグメントを最適化して TDP を低くし、周波数を上げて高いパフォーマンスを実現します
Y	速度選択 : パフォーマンス プロファイル	Intel® Speed Select テクノロジーは、特定のコア数に対して保証された基本周波数を設定し、このパフォーマンス プロファイルを特定のアプリケーション / ワークロードに割り当てて、パフォーマンス要件を保証する機能を提供します。また、実行時に設定を構成し、追加の周波数プロファイル設定の機会を提供します。

## サポートされている構成

## (1) DIMM のみの構成 :

- 次のリストから CPU を選択し、1 つまたは同一のものを 2 つ使用します [表 3 \(9 ページ\)](#)。

## (2) DIMM/PMEM の混在構成

- 次のリストから CPU を選択し、同一のものを 2 つ使用する必要があります [表 3 \(9 ページ\)](#)。

## (3) NVMe PCIe ドライブの設定 :

- 次のリストから CPU を選択し、同一のものを 2 つ使用する必要があります [表 3 \(9 ページ\)](#)。

## (4) 1 CPU 構成

- 次のいずれかの行から CPU を 1 つ選択します [表 3 使用可能な CPU ページ 9](#)。

(5) 2 CPU 構成

– 次のいずれかの行から同一仕様の CPU を 2 つ選択します。 [表 3 使用可能な CPU ページ 9](#)



注：

- 2 つの CPU 設定に 2 個の I8351N または 2 個の I6314U あるいは I6312U CPU は混在することができません。
- 1 つの I8351N CPU、1 つの I6314U CPU、または 1 つの I6312U CPU を搭載したサーバを設定する場合、これらの CPU を 2 つ搭載した 2 CPU システムにアップグレードすることはできません。

不具合

- 選択する 1 つまたは 2 つの CPU は、必要なサーバの機能に応じて異なります。次の項を参照してください。
  - [ステップ 3 メモリを選択するページ 13](#)
  - [ステップ 7 オプションのドライブを選択するページ 25](#)



**注意：** [表 5](#) では、示されたプロセッサで設定されたシステムは吸気口の周囲温度のしきい値に従う必要があります。しきい値を守らなかった場合、ファンの障害、または Intel® Advanced Vector Extensions 512 (Intel® AVX-512) のような負荷の高い命令セットを使用するワークロードの実行により、温度異常、パフォーマンス劣化（またはその両方）の障害が発生して関連するイベントがシステムイベントログ (SEL) に記録されることがあります。 [表 5](#) これらの制限により、適切に冷却を行ってシステム パフォーマンスに影響を与える可能性がある過度なプロセッサのスロットリングを回避できます。

表 5 周囲温度と構成の制限

プロセッサの熱設計電力 (TDP)	CPU 製品 ID (PID)	ブレード スロット	周囲温度の制限	設定の制約事項
すべて	すべて	すべて	27 °C (80.6 °F)	なし
任意	UCS-CPU-I6314U UCS-CPU-I8351N	任意 (Any)	27 °C (80.6 °F)	シングル プロセッサ構成に限定

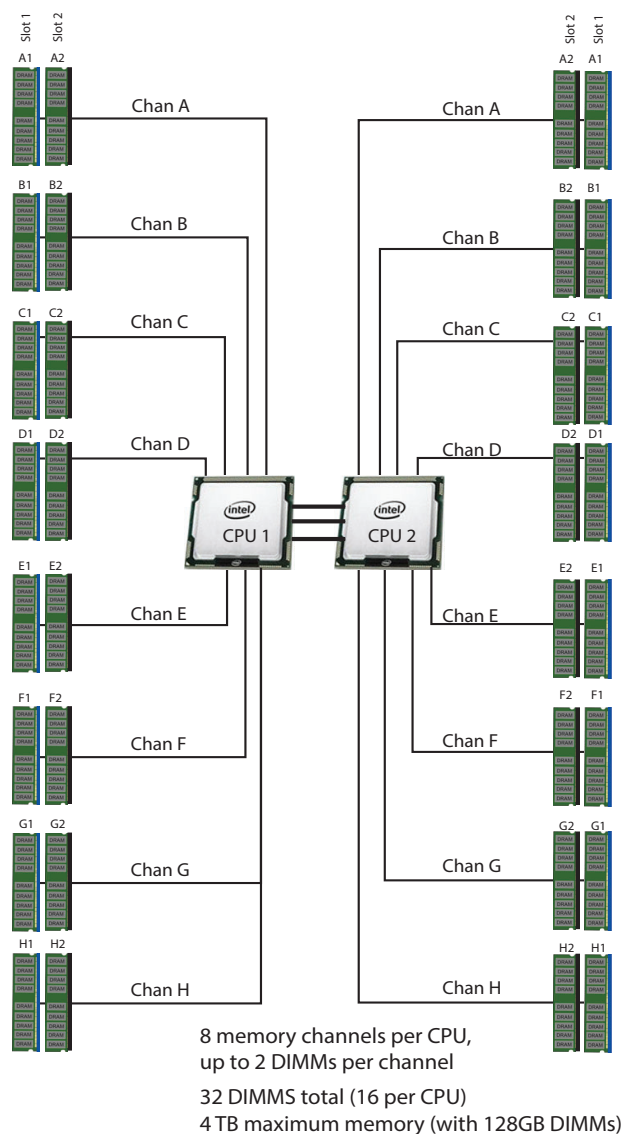
### ステップ 3 メモリを選択する

B200 M6 で使用可能なメモリは次のとおりです。

- クロック速度：3200 MHz
- DIMM あたりのランク：1、2、4、または 8
- 動作時の電圧：1.2 V
- Registered ECC DDR4 DIMM (RDIMM)、Load-reduced DIMM (LRDIMM)、または Intel® Optane™ パーシステント メモリ モジュール (PMem)。

に示されているように、メモリは、CPU あたり 8 個のメモリチャンネルと、チャンネルあたり最大 2 個の DIMM で構成されます。 [図 3](#)

図 3 B200 M6 メモリ構成



## DIMM とメモリ ミラーリングの選択

メモリの構成とメモリ ミラーリング オプションが必要かどうかを選択します。サポートされるメモリ DIMM、PMem、PMem メモリ モード、およびミラーリング オプションを表 6 に示します。

表 6 DDR4 DIMM および PMem が利用可能

製品 ID (PID)	PID の説明	Voltage	ランク / DIMM
<b>DIMM</b>			
UCS-MR-X16G1RW	16 GB RDIMM SRx4 3200 (8Gb)	1.2 V	1
UCS-MR-X32G1RW	32 GB RDIMM SRx4 3200 (16Gb)	1.2 V	1
UCS-MR-X32G2RW	32 GB RDIMM DRx4 3200 (8Gb)	1.2 V	2
UCS-MR-X64G2RW	64 GB RDIMM DRx4 3200 (16Gb)	1.2 V	2
UCS-ML-128G4RW	128 GB LRDIMM QRx4 3200 (16Gb) (非 -3DS)	1.2 V	4
<b>Intel® Optane™ パーシステント メモリ製品 (PMem)<sup>1</sup></b>			
UCS-MP-128GS-B0	Intel® Optane™ パーシステント メモリ、128GB、3200 MHz		
UCS-MP-256GS-B0	Intel® Optane™ パーシステント メモリ、256 GB、3200 MHz		
UCS-MP-512GS-B0	Intel® Optane™ パーシステント メモリ、512 GB、3200 MHz		
<b>DIMM ブランク<sup>2</sup></b>			
UCS-DIMM-BLK	UCS DIMM ブランク		
<b>Intel® Optane™ パーシステント メモリ (PMem) の動作モード</b>			
UCS-DCPMM-AD	App Direct モード		
UCS-DCPMM-MM	メモリ モード		
<b>メモリ ミラーリング オプション<sup>3</sup></b>			
N01-MMIRROR	メモリ ミラーリング オプション		

## 注:

- すべての第 3 世代 Intel® Xeon® スケーラブル プロセッサ (Ice Lake) は、4309Y、4310、4310T、および 4316 プロセッサを除き、PMem 製品をサポートします。
- 適切な冷却エアフローを維持するために、空の DIMM スロットに DIMM ブランクを取り付ける必要があります。
- メモリ構成とミラーリングについては、[メモリ構成とミラーリング ページ 46](#) および [第 3 世代 Intel® Xeon® スケーラブルプロセッサのメモリサポート \(Ice Lake\) ページ 49](#) を参照してください。

## メモリ構成の特長とモード

システム速度は、CPU がサポートする DIMM 速度によって異なります。DIMM の速度については、[使用可能な CPU ページ 9](#) を参照してください。

- CPU 1 と CPU 2 (装着する場合) 用の DIMM の構成は、常に同一である必要があります。
- 前世代のサーバのシスコ メモリ (DDR3 および DDR4) は、UCS B200 M6 ブレードとは互換性がありません。
- メモリは任意の DIMM 数のペアで構成できますが、最適なパフォーマンスを得る方法については、[C220/C240/B200 M6 メモリ ガイド](#)を参照してください。
- 詳細については、「[メモリ構成とミラーリング ページ 46](#)」を参照してください。
- 詳細な Intel® Optane™ パーシステント メモリ (PMem) 構成については、[B200 M6 サーバー インストールおよびサービス ガイド](#)を参照してください。

動作確認済みの構成



注：メモリ ミラーリングは DIMM でのみ許可されます。PMem がインストールされている場合は、メモリ ミラーリングを設定できません。

(1) 1 CPU 構成、メモリ ミラーリングなし：

- 1 ~ 16 DIMM から選択します。
  - 1、2、4、6、8、12、または 16 DIMM が許可されています
  - 3、5、7、9、10、11、13、14、15 DIMM が許可されています
  - 両方の CPU の DIMM は、同じ構成にする必要があります。

DIMM は、次の表に示すように、出荷時に配置されます。

DIMM の数	チャンネル内の CPU DIMM 配置 (同一速度の DIMM)
1	(A1)
2	(A1、E1)
4	(A1、C1); (E1、G1)
6	(A1、C1)、(D1、E1)、(G1、H1)
8	(A1、C1); (D1、E1); (G1、H1); (B1、F1)
12	(A1、C1); (D1、E1); (G1、H1); (A2、C2); (D2、E2); (G2、H2)
16	(A1、B1); (C1、D1); (E1、F1); (G1、H1); (A2、B2); (C2、D2); (E2、F2); (G2、H2)

(2) 1 CPU 構成、メモリ ミラーリングあり：

- CPU ごとに 8 個または 16 個の DIMM を選択します (すべての CPU の DIMM は同一に構成される必要があります)。さらに、[表 6 \(14 ページ\)](#) に示されているように、メモリ ミラーリング オプション (N01-MMIRROR) が選択されている必要があります。

DIMM は、次の表に示すように、出荷時に配置されます。

# CPU ごとの DIMM の数	CPU 1 チャンネル内の DIMM 配置 (同一速度の DIMM)
8	(A1、C1); (D1、E1); (G1、H1); (B1、F1)
16	(A1、B1); (C1、D1); (E1、F1); (G1、H1); (A2、B2); (C2、D2); (E2、F2); (G2、H2)

- [表 6 \(14 ページ\)](#) に示すメモリ ミラーリング オプション (N01-MMIRROR) を選択します。



## (3) 2 CPU 構成、メモリ ミラーリングなし :

- CPU あたり 1 ~ 16 の DIMM から選択します。
  - 1、2、4、6、8、12、または 16 DIMM が許可されています
  - 3、5、7、9、10、11、13、14、15 DIMM が許可されています
  - 両方の CPU の DIMM は、同じ構成にする必要があります。

DIMM は、次の表に示すように、出荷時に配置されます。

DIMM の数	チャンネル内の CPU DIMM 配置 (同一速度の DIMM)	チャンネル内の CPU 2 DIMM 配置 (同一速度の DIMM)
1	(A1)	(A1)
2	(A1、E1)	(A1、E1)
4	(A1、C1); (E1、G1)	(A1、C1); (E1、G1)
6	(A1、C1)、(D1、E1)、(G1、H1)	(A1、C1)、(D1、E1)、(G1、H1)
8	(A1、C1); (D1、E1); (G1、H1); (B1、F1)	(A1、C1); (D1、E1); (G1、H1); (B1、F1)
12	(A1、C1); (D1、E1); (G1、H1); (A2、C2); (D2、E2); (G2、H2)	(A1、C1); (D1、E1); (G1、H1); (A2、C2); (D2、E2); (G2、H2)
16	(A1、B1); (C1、D1); (E1、F1); (G1、H1); (A2、B2); (C2、D2); (E2、F2); (G2、H2)	(A1、B1); (C1、D1); (E1、F1); (G1、H1); (A2、B2); (C2、D2); (E2、F2); (G2、H2)

## (4) 2 CPU 構成、メモリ ミラーリングあり :

- CPU ごとに 8 個または 16 個の DIMM を選択します (すべての CPU の DIMM は同一に構成される必要があります)。さらに、[表 6 \(14 ページ\)](#) に示されているように、メモリ ミラーリング オプション (N01-MMIRROR) が選択されている必要があります。

DIMM は、次の表に示すように、出荷時に配置されます。

# CPU ごとの DIMM の数	CPU 1 チャンネル内の DIMM 配置 (同一速度の DIMM)	チャンネル内の CPU 2 DIMM 配置 (同一速度の DIMM)
8	(A1、C1); (D1、E1); (G1、H1); (B1、F1)	(A1、C1); (D1、E1); (G1、H1); (B1、F1)
16	(A1、B1); (C1、D1); (E1、F1); (G1、H1); (A2、B2); (C2、D2); (E2、F2); (G2、H2)	(A1、B1); (C1、D1); (E1、F1); (G1、H1); (A2、B2); (C2、D2); (E2、F2); (G2、H2)

- [表 6 \(14 ページ\)](#) に示すメモリ ミラーリング オプション (N01-MMIRROR) を選択します。



注：システムパフォーマンスは、両方の CPU で DIMM のタイプと数量が同じで、すべてのチャンネルがサーバ内の CPU 全体で等しく利用されている場合に最適化されます。

表 7 異なる Intel® Xeon® Ice Lake® プロセッサを搭載した 3200-MHz DIMM メモリ速度

DIMM および CPU の周波数 (MHz)	DPC	LRDIMM (4Rx4) - 128 GB (MHz)	RDIMM (2Rx4) - 64 GB (MHz)	RDIMM (2Rx4) - 32 GB (MHz)	RDIMM (1Rx4) - 16 GB (MHz)
		1.2 V	1.2 V	1.2 V	1.2 V
DIMM = 3200 CPU = 3200	1DPC	3200	3200	3200	3200
	2DPC	3200	3200	3200	3200
DIMM = 3200 CPU = 2933	1DPC	2933	2933	2933	2933
	2DPC	2933	2933	2933	2933
DIMM = 3200 CPU = 2666	1DPC	2666	2666	2666	2666
	2DPC	2666	2666	2666	2666

## DIMM ルール

- 1 CPU で使用できる DIMM 数 :
  - 最小 DIMM 数 = 1。最大 DIMM 数 = 16
  - 1、2、4、6、8、12、または 16 DIMM が許可されています
  - 3、5、7、9、10、11、13、14、15 DIMM は許可されていません。
- 2 CPU で使用できる DIMM 数 :
  - 最小 DIMM 数 = 2。最大 DIMM 数 = 32
  - 2、4、8、12、16、24、または 32 DIMM が許可されています
  - 6、10、14、18、20、22、26、28、または 30 DIMM は使用できません。
- DIMM の組み合わせ :
  - サーバー内で異なるタイプの DIMM (RDIMM と LRDIMM) を混在させることはサポートされていません。
  - RDIMM タイプと RDIMM タイプの混合は、バランスの取れた構成で同じ量で混合されている場合に許可されます。
  - 16GB、32GB、および 64GB RDIMM の混在がサポートされています。
  - 128 GB LRDIMM は他の RDIMM と組み合わせることはできません。



## 注 :

- PMem がインストールされているときは、DIMM 混合が許可されません。すべての DIMM は同じタイプとサイズでなければなりません。
- 次のリンクにある詳細な混合 DIMM 構成を参照してください

[Cisco UCS C220/C240/B200 M6 メモリ ガイド](#)

PMem メモリモードについては、[表 8](#) を参照してください。許容される DIMM/PMem の混在構成については、[表 8](#) を参照してください。

**表 8 Intel® Optane™ DC パーシステント メモリ モード**

Intel® Optane™ パーシステント メモリ モード	
App Direct モード	PMem は、ソリッドステート ディスク ストレージ デバイスとして動作します。データは保存され、不揮発性です。DCPMM と DIMM キャパシティは、CPU キャパシティの制限のみに対してカウントされます。
メモリ モード	PMEM は、100% メモリ モジュールとして動作します。データは揮発性であり、DRAM は PMem のキャッシュとして機能します。PMEm キャパシティのみが、CPU キャパシティの制限に対してカウントされます。これは工場出荷時のデフォルト モードです。

**表 9 第 3 世代 Intel® Xeon® スケーラブル プロセッサ (Ice Lake) 許容 DIMM/PMem 混合<sup>1</sup> 物理構成 (ソケットあたり)**

DIMM + PMem カウント	CPU 1 または CPU 2															
	ICX : IMC2				ICX : IMC3				ICX : IMC1				ICX : IMC0			
	チャン 0 (F)		チャン 1 (E)		Chan 0 (H)		チャン 1 (G)		チャン 0 (C)		チャン 1 (D)		チャン 0 (A)		チャン 1 (B)	
	スロット 1	スロット 2	スロット 1	スロット 2	スロット 1	スロット 2	スロット 1	スロット 2	スロット 2	スロット 1	スロット 2	スロット 1	スロット 2	スロット 2	スロット 1	スロット 2
4 + 4 <sup>2</sup>	PMem		DIMM		PMem		DIMM			DIMM		PMem		DIMM		PMem
8 + 1 <sup>3</sup>	DIMM		DIMM		DIMM		DIMM			DIMM		DIMM	PMem	DIMM		DIMM
8 + 4 <sup>4</sup>	DIMM		DIMM	PMem	DIMM		DIMM	PMem	PMem	DIMM		DIMM	PMem	DIMM		DIMM
8 + 8 <sup>5</sup>	DIMM	PMem	DIMM	PMem	DIMM	PMem	DIMM	PMem	PMem	DIMM	PMem	DIMM	PMem	DIMM	PMem	DIMM

注 : AD = App Direct Mode、MM = Memory Mode

**注 :**

- 現時点で PMem を使用する場合は、すべてのシステムに 2 個の CPU を装着する必要があります。
- AD、MM
- AD
- AD、MM
- AD、MM

詳細な PMem の構成については、「Cisco UCS B200 M6 サーバー インストレーションおよびサービス ガイド」を参照してください。

[Cisco UCS B200 M6 サーバ インストレーションおよびサービス ガイド](#)

DIMM/PMem の詳細については、「UCS C220/C240/B200 M6 メモリ ガイド」を参照してください。

[Cisco UCS C220/C240/B200 M6 M メモリ ガイド 20-10-2021 12:33](#)

## ステップ 4 MLOM 背面メザニン アダプタを選択します

UCS B200 M6 は Cisco VIC mLOM アダプタを合わせて構成する必要があります。アダプタは、シングル CPU またはデュアル CPU 構成で動作します。表 11 使用可能な mLOM アダプタの選択肢を示します。

表 10 mLOM アダプタ

製品 ID (PID)	説明	コネクタ (Connector)
UCSB-MLOM-40G-04	ブレード サーバ用 Cisco UCS VIC 1440 モジュラ型 LOM	mLOM
UCSB-ML-V5Q10G	Cisco UCS VIC 15411 modular LOM for Blade Servers	mLOM

表 11 mLOM のみの構成での集約帯域幅

mLOM	UCS 5108 ブレード シャーシのファブリック エクステンダの総帯域幅 (Gb/s)				ファブリック インターコネクタ サポート					
	2 x 2408	2 x 2304	2 x 2208XP	2x2204XP	2 x 6324	2 x 6332	2 x 6332-16UP	2 x 6454	2 x 64108	2 x 6536
VIC 1440 mLOM	40	40	40	20	可 (20 Gbps)	はい	はい	はい	はい	はい
VIC 15411 mLOM	40	40	40	20	いいえ	はい	はい	はい	はい	はい

シスコは、1400 シリーズおよび 15411 の仮想インターフェイス カード (VIC) を開発することで、さまざまな NIC デバイスと HBA デバイスを作成する柔軟性を提供しています。次に、VIC の特長を示します。

- ネットワーク オーバーレイのオフロード サポートなどの機能強化が含まれています。
- イーサネットと FCoE の両方をサポートする 2 個の Converged Network Adapter (CNA) ポート。
- 合計で最大 80 Gbps の I/O スループットをサーバに提供。
- 2x40 (ネイティブ) Gbps ユニファイド I/O ポートをサポートします
- すべての機能を備えた独立した PCIe アダプタおよびインターフェイスを最大 256 個サポート。
- 物理ネットワークからの仮想マシンに対する可視性と、物理サーバと仮想サーバに対する一貫したネットワーク運用モデルの実現が可能。
- 幅広いオペレーティング システムやハイパーバイザに関するお客様の要件をサポート。

UCS B200 M6 の mLOM VIC によって、ファブリック エクステンダ (FEX) 経由、または UCS 5108 ブレード シャーシ搭載の UCS 6324 ファブリック コネクタ (UCS Mini) から直接ファブリック インターコネクタに接続できます。

B200 M6 ブレードでサポートされるファブリック エクステンダを以下に示します。

- Cisco UCS 2200 シリーズ ファブリック エクспанダ
- Cisco UCS 2304 (v1) ファブリックエクステンダ
- Cisco UCS 2304 (v2) ファブリックエクステンダ
- Cisco UCS 2408 ファブリック エクステンダ

B200 M6 ブレードでサポートされるファブリック インターコネクトを以下に示します。

- Cisco UCS 6300 シリーズ ファブリック インターコネクト
- Cisco UCS 6400 シリーズ ファブリック インターコネクト
- Cisco UCS 6536 ファブリック インターコネクト

## ステップ 5 オプションの背面メザニン アダプタ (VIC またはポート エクスパンダ) を選択します

UCS B200 M6 には、背面メザニン アダプタ コネクタが 1 個あります。UCS B200 M6 は、背面メザニン アダプタの有無にかかわらず構成できます。サポートされているアダプタについては、[表 12 使用可能なリア メザニン アダプタ](#) を参照してください。

表 12 使用可能なリア メザニン アダプタ

製品 ID (PID)	PID 説明	必要な CPU	コネクタ
<b>VIC 用ポート エクスパンダ カード</b>			
これは、VIC 1440 に 4 ポート追加できるハードウェア オプションです。VIC 1440 の全機能をデュアル ネイティブ 40G インターフェイスにすることができます			
UCSB-MLOM-PT-01	Cisco UCS VIC 用ポート エクスパンダ カード	1 または 2 CPU	背面メザニン
<b>Cisco VIC カード</b>			
UCSB-VIC-M84-4P	Cisco UCS VIC 1480 メザニン アダプタ	2 CPU が必要	背面メザニン

### サポートされている構成

- mLOM (VIC 1440) が必要

さまざまな背面メザニン カードが装着されている場合の総帯域幅については、[表 13](#) を参照してください。

表 13 背面メザニン カード装着時の総帯域幅

背面メザニン アダプタ	UCS 5108 ブレード シャーシのファブリック エクステンダの総帯域幅 (Gb/s)				ファブリック インターコネクタ サポート					
	2 x 2408	2 x 2304	2x 2208XP	2x 2204XP	2 x 6324	2 x 6332	2 x 6332-16UP	2 X 6454	2 x 64108	2 x 6536 <sup>5</sup>
1440 + ポート エクスパンダ	80 <sup>1</sup>	80 <sup>2,3</sup>	40	20	可 (20 Gbps)	はい	はい	はい	はい	はい
VIC 1480	80 <sup>4</sup>	80 <sup>4</sup>	80 <sup>4</sup>	40	はい (40 Gbps)	はい	はい	はい	はい	はい
VIC 15411 + ポート エクスパンダ	80 <sup>1</sup>	80 <sup>2,3</sup>	40	20	いいえ	はい	はい	はい	はい	はい

## 注:

1. デュアル ネイティブ 40G インターフェイスを使用最大シングル フローは 25 Gbps、集約は 40 Gbps です。サーバに対する 40 Gbps と、ファブリック インターコネク ト (FI) に対する 25 Gbps の速度の不一致による IOM / ファブリック エクステンダの一時的なドロップを回避するために、25 Gbps に対する vNIC レート制限が推奨されます
2. デュアル ネイティブ 40G インターフェイスを使用
3. 4x10 モードで動作している場合、帯域幅は 40Gbps に低下します (2x10 G ポートチャンネル対応 x 2)
4. Four 2x10 Gbps port-channels
5. Cisco UCS 6536 ファブリック インターコネク トおよび / または VIC 1440 は、4.2(2) 以降の Intersight 管理モードでサポートされます。FI 6536 の UCSM サポートは、4.2(3) リリースで利用可能です。FI 6536 は、4.2(2) リリースでは IOM-2408 のみをサポートし、4.2(3) リリースからは IOM-2408 と IOM-2304 の両方をサポートします。
6. VIC 15411 は、UCSM および IMM の 4.2(3) リリースからサポートされています。15411 は、M6 ブレードおよび FI-6332/6332-16UP/6454/64108/6536 と IOM 220x/2304/2408 でサポートされています。
7. B200-M6 は、FI-6324 または UCS Mini を備えたプライマリシャーシでのみサポートされます。

## ステップ 6 オプションの前面メザニン アダプタを選択する

UCS B200 M6 には、次のいずれかのメザニン カードを装着できる前面メザニン コネクタが 1 つ あります。

- 2 台のドライブ ベイ搭載の Cisco FlexStorage 12G RAID コントローラ、または
- 2 台のドライブ ベイ搭載の Cisco FlexStorage NVMe パススルー モジュール、または
- SATA M.2 RAID ストレージ用 Cisco FlexStorage ミニ ストレージ キャリア。M.2 SATA ドライブを選択する場合は、UCS-M2-HWRAID が必要です。

UCS B200 M6 は前面メザニン アダプタの有無にかかわらず構成できます。表 14 使用可能な前面メザニン アダプタを参照してください。

表 14 使用可能な前面メザニン アダプタ

製品 ID (PID)	PID 説明	コネクタ タイプ
UCSB-RAID12G-M6	SAS/SATA ソリッド ステート ドライブ (SSD) 向けドライブ ベイ搭載の Cisco FlexStorage 12G RAID コントローラ	前面メザニン
UCSB-LSTOR-PT-M6	PCIe NVMe ドライブ向けドライブ ベイ搭載の Cisco FlexStorage パススルー モジュール。	前面メザニン
UCSB-MSTOR-M6 <sup>1</sup>	最大 2 枚の SATA M.2 RAID カードを保持できるミニ ストレージ キャリア。	前面メザニン

### 注:

1. B200 M6 は、1 つの UCSB-MSTOR-M6 ミニストレージ キャリアに対応できます。キャリアは最大 2 つの UCS-M2-HWRAID ブート最適化 RAID コントローラを保持できます ([Cisco 6GB/s SATA ブート最適化 M.2 RAID コントローラ ページ 28](#) を参照)。最大 2 枚の UCS-M2-240GB または UCS-M2-960GB SATA M.2 ドライブ カードを各 UCS-M2-HWRAID に接続できるため、最大 4 枚の SATA M.2 カードを使用できます。同じ UCS-M2-HWRAID RAID コントローラに接続されている SATA M.2 カードは、同じ容量である必要があります。



## ステップ 7 オプションのドライブを選択する

UCS B200 M6 は、ドライブの有無にかかわらず構成できます。ドライブ オプションは次のとおりです。

- 1 台または 2 台の 2.5 インチ (7 mm) 小型フォームファクタ SSD または PCIe NVMe ドライブ
  - ホットプラグ可能
  - スレッド マウント
- 最大 2 つの SATA M.2 ストレージ モジュールを選択して、各 UCS-M2-HWRAID モジュールに接続し、UCSB-MSTOR-M6 ミニ ストレージ キャリアに接続できます。同じ UCS-M2-HWRAID モジュール内の 2 つの SATA M.2 ストレージ モジュールは、同じ容量である必要があります。

表 15 に記載されているサポート対象ドライブのリストからドライブを 1 台または 2 台選択します。

表 15 使用可能なドライブ オプション

製品 ID (PID)	説明	ドライブタイプ	速度	パフォーマンス / 耐久性 / 価値	サイズ (Size)
SATA SSD <sup>1,2,3</sup>					
Enterprise Performance SSD (高耐久性、最大 3X DWPD (Drive Writes Per Day) 対応)					
UCS-SD480GBI6-EP	480 GB 2.5 インチ Enterprise Performance 6G SATA SSD (3X 耐久性) Intel S4610	SATA	6G	Ent. Perf 3X	480 GB
UCS-SD960GBI6-EP	960 GB 2.5 インチ Enterprise Performance 6G SATA SSD (3X 耐久性) Intel S4610	SATA	6G	Ent. Perf 3X	960 GB
UCS-SD19TBI6-EP	1.9 TB 2.5 インチ Enterprise Performance 6G SATA SSD (3X 耐久性) Intel S4610	SATA	6G	Ent. Perf 3X	1.9 TB
UCS-SD480GBM6-EP	480 GB 2.5 インチ Enterprise Performance 6G SATA SSD (3X 耐久性) Micron 5300	SATA	6G	Ent. Perf 3X	480 GB
UCS-SD960GBM6-EP	960 GB 2.5 インチ Enterprise Performance 6G SATA SSD (3X 耐久性) Micron 5300	SATA	6G	Ent. Perf 3X	960 GB
UCS-SD19TM6-EP	1.9 TB 2.5 インチ Enterprise Performance 6G SATA SSD (3X 耐久性) Micron 5300	SATA	6G	Ent. Perf 3X	1.9 TB

表 15 使用可能なドライブ オプション (続き)

製品 ID (PID)	説明	ドライブ タイプ	速度	パフォーマンス/ 耐久性/ 価値	サイズ (Size)
Enterprise Value SSD (一般耐久性、最大 1X DWPD (Drive Writes Per Day) 対応)					
UCS-SD120GM6-EV	120 GB 2.5 インチ Enterprise Value 6G SATA SSD (Micron 5300)	SATA	6G	Ent. 値	120 GB
UCS-SD240GM6-EV	240 GB 2.5 インチ Enterprise Value 6G SATA SSD (Micron 5300)	SATA	6G	Ent. 値	240 GB
UCS-SD480GI6-EV	480 GB 2.5 インチ Enterprise Value 6G SATA SSD (Intel S4510)	SATA	6G	Ent. 値	480 GB
UCS-SD960GI6-EV	960 GB 2.5 インチ Enterprise Value 6G SATA SSD (Intel S4510)	SATA	6G	Ent. 値	960 GB
UCS-SD16TM6-EV	1.6 TB 2.5 インチ Enterprise Value 6G SATA SSD (Micron 5300)	SATA	6G	Ent. 値	1.6 TB
UCS-SD19TM6-EV	1.9 TB 2.5 インチ Enterprise Value 6G SATA SSD (Micron 5300)	SATA	6G	Ent. 値	1.9 TB
UCS-SD38TM6-EV	3.8 TB 2.5 インチ Enterprise Value 6G SATA SSD (Micron 5300)	SATA	6G	Ent. 値	3.8 TB
UCS-SD38TI6-EV	3.8 TB 2.5 インチ Enterprise Value 6G SATA SSD (Intel S4510)	SATA	6G	Ent. 値	3.8 TB
UCS-SD76TM6-EV	7.6 TB 2.5 インチ Enterprise Value 6G SATA SSD (Micron 5300)	SATA	6G	Ent. 値	7.6 TB
UCS-SD960GS6-EV	960 GB 2.5 インチ Enterprise Value 6G SATA SSD (Samsung PM883)	SATA	6G	Ent. 値	960 GB
UCS-SD19TS6-EV	1.9 TB 2.5 インチ Enterprise Value 6G SATA SSD (Samsung PM883)	SATA	6G	Ent. 値	1.9 TB
UCS-SD38TS6-EV	3.8 TB 2.5 インチ Enterprise Value 6G SATA SSD (Samsung PM883)	SATA	6G	Ent. 値	3.8 TB
UCS-SD78TS6-EV	7.6 TB 2.5 インチ Enterprise Value 6G SATA SSD (Samsung PM883)	SATA	6G	Ent. 値	7.6 TB
UCS-SD480GM6-EV	480 GB 2.5 インチ Enterprise Value 6G SATA SSD (Micron 5300)	SATA	6G	Ent. 値	480 GB
UCS-SD960GM6-EV	960 GB 2.5 インチ Enterprise Value 6G SATA SSD (Micron 5300)	SATA	6G	Ent. 値	960 GB
UCS-SD960GS26-EV	960 GB 2.5 インチ Enterprise Value 6 G SATA SSD	SATA	6G	Ent. 値	960 GB
UCS-SD19TS26-EV	1.9 TB 2.5 インチ Enterprise Value 6 G SATA SSD	SATA	6G	Ent. 値	1.9 TB
UCS-SD38TS26-EV	3.8 TB 2.5 インチ Enterprise Value 6 G SATA SSD	SATA	6G	Ent. 値	3.8 TB
UCS-SD78TS26-EV	7.6TB 2.5 インチ Enterprise Value 6G SATA SSD	SATA	6G	Ent. 値	7.6 TB

表 15 使用可能なドライブ オプション (続き)

製品 ID (PID)	説明	ドライブタイプ	速度	パフォーマンス / 耐久性 / 価値	サイズ (Size)
<b>NVMe<sup>4</sup></b>					
UCSB-NVMEM6-W800	800 GB 2.5 インチ U.2 2 Western Digital SN640 NVMe Med Perf. 高耐久性	NVMe	U.2	Med. パフォーマンスのハイエンド。	800 GB
UCSB-NVMEM6-W1920	1.9 TB 2.5 インチ U.2 Western Digital SN640 NVMe Med Perf. バリユー耐久性	NVMe	U.2	中程度のパフォーマンス バリユーエンド。	1.9 TB
UCSB-NVMEM6-W3800	3.8 TB 2.5 インチ U.2 Western Digital SN640 NVMe Med Perf. バリユー耐久性	NVMe	U.2	中程度のパフォーマンス バリユーエンド。	3.8 TB
UCSB-NVMEM6-W6400	6.4 TB 2.5 インチ U.2 Western Digital SN640 NVMe Med Perf. 高耐久性	NVMe	U.2	Med. パフォーマンスのハイエンド。	6.4 TB
<b>Self-Encrypted Drives (SED)</b>					
UCS-SD960GBM2NK9	960 GB Enterprise Value SATA SSD (1X, SED) Micron 5300	SED		Ent. 値	960 GB
UCS-SD38TBEM2NK9	3.8 TB Enterprise Value SATA SSD (1X, SED) Micron 5300	SED		Ent. 値	3.8 TB
UCS-SD76TBM6NK9	7.6 TB EGB Enterprise Value SATA SSD (1X, SED) Micron 5300	SED		Ent. 値	7.6 TB
<b>SATA M.2 ストレージ モジュール<sup>5</sup></b>					
UCS-M2-240GB	Micron 5100 240G SATA M.2	SATA	M.2		240 GB
UCS-M2-960GB	Micron 5100 960G SATA M.2	SATA	M.2		960 GB
注： シスコではさまざまなベンダーのソリッドステートドライブ (SSD) を使用しています。すべてのソリッドステートドライブ (SSD) は、物理的な書き込み制限の影響を受け、設定されている最大使用制限仕様は製造元によって異なります。シスコでは、シスコまたは製造元によって設定された最大使用仕様を超えたソリッドステートドライブ (SSD) をシスコ単独の判断では交換しません。					

## 注：

1. SSD ドライブには UCSB-MRAID-M6 前面メザニン アダプタが必要です。
2. SSD ドライブを RAID グループに含める場合は、2 つの同一 SSD をそのグループで使用する必要があります。
3. SSD が JBOD モードになっている場合、ドライブは同一である必要はありません。
4. NVMe ドライブには、UCSB-LSTOR-PT 前面メザニン アダプタが必要です。
5. M.2 ストレージ モジュールでは、UCS-M2-HWRAID が必要です。

## Cisco 6GB/s SATA ブート最適化 M.2 RAID コントローラ

M.2 SATA ドライブを注文する場合は、1 台または 2 台の SATA M.2 ドライブ全体でハードウェア RAID のブート最適化 RAID コントローラ (UCS-M2-HWRAID) を選択する必要があります。UCSB-MSTOR-M6 ミニストレージ キャリアも 1 つ選択する必要があります。RAID コントローラは UCSB-MSTOR-M6 ミニ ストレージ キャリアに接続し、最大 2 台の SATA M.2 ドライブを UCS-M2-HWRAID RAID コントローラに接続します。

注：ブート最適化 RAID コントローラは、VMware、Windows、および Linux オペレーティング システムをサポートします。

表 16 ブート最適化 RAID コントローラ

製品 ID (PID)	PID の説明
UCS-M2-HWRAID	Cisco ブート最適化 M.2 RAID コントローラ



## 注：

- UCS-M2-HWRAID コントローラは RAID 1 および JBOD モードをサポートしており、240 GB および 960 GB M.2 SSD にのみ対応しています。
- (CIMC/UCSM) は、ボリュームの設定とコントローラおよび取り付け済みの SATA M.2 のモニタリングに対応しています。
- このコントローラをサポートする Cisco IMC および Cisco UCS Manager の最小バージョンは 4.0 (4) 以降です。このコントローラをサポートする Cisco IMC および Cisco UCS Manager の最小バージョンは 4.0 (4) 以降です。ソフトウェアのコントローラ名は MSTOR です。
- SATA M.2 ドライブは UEFI モードでのみ起動できます。レガシ ブート モードはサポートされていません。
- ホットプラグの交換はサポートされていません。サーバの電源をオフにする必要があります。

## Intel® Virtual RAID on CPU (intel® VROC)

サーバーは Intel® Virtual RAID on CPU (Intel® VROC) をサポートしています。VROC は、Intel NVMe SSD で使用されるエンタープライズ RAID ソリューションです (サポートされている Intel NVMe SSD については、[表 15](#) を参照)。Intel® Volume Management Device (Intel® VMD) は、CPU PCIe ルート コンプレックスに統合されたコントローラです。Intel® VMD NVMe SSD は CPU に接続されるため、高速な Intel® Optane™ SSD の潜在的なパフォーマンスを最大限に引き出すことができます。Intel® VROC の実装により、ドライブと CPU の間に配置される、従来のハードウェア RAID ホスト バス アダプタ (HBA) カードが置き換えられます。



### 注:

- Intel® VROC は Intel ドライブでのみサポートされています
- Intel® VROC イネーブルメント キー ファクトリは BIOS に事前にプロビジョニングされています。追加のライセンスは必要ありません。

VROC には次の特徴があります。

- スモール フォーム ファクタ (SFF) ドライブ (のみ) のサポート
- バッテリ バックアップ (BBU) または外部のスーパー キャパシタは必要ありません
- インテル CPU に直接接続されたインテル SFF NVMe を利用したソフトウェアベースのソリューション
- RAID 0/1/5/10 のサポート
- Windows、Linux、VMware OS のサポート。
- ホスト ツール - Windows GUI/CLI、Linux CLI。
- UEFI サポート - HII ユーティリティ、OBSE。
- Intel VROC NVMe は UEFI モードでのみ動作します

詳細については、[Intel NVMe SSD の VROC の設定と管理に関する説明](#)を参照してください。

## ステップ 8 トラステッド プラットフォーム モジュール を選択します

トラステッド プラットフォーム モジュール (TPM) は、プラットフォームまたはサーバの認証に使用される情報を安全に保存可能なコンピュータ チップまたはマイクロ コントローラです。これらのアーティファクトには、パスワード、証明書、または暗号キーを収録できます。プラットフォームが信頼性を維持していることを確認するうえで効果的なプラットフォームの尺度の保存でも、TPM を使用できます。すべての環境で安全なコンピューティングを実現するうえで、認証 (プラットフォームがその表明どおりのものであることを証明すること) および立証 (プラットフォームが信頼でき、セキュリティを維持していることを証明するプロセス) は必須の手順です。

表 17 使用可能な TPM オプション

製品 ID (PID)	説明
UCSX-TPM-002C	トラステッド プラットフォーム モジュール 2.0、UCS M6 svr (FIPS 140-2 準拠)
UCSX-TPM-OPT-OUT	OPT OUT、TPM 2.0、TCG、FIPS140-2、CC EAL4 + 認定 <sup>1</sup>

### 注:

1. ベアメタルまたはゲスト VM の展開には、Microsoft 認定の TPM 2.0 が必要であることに注意してください。TPM 2.0 のオプトアウトにより、Microsoft 認定資格が無効になります



### 注:

- このシステムで使用される TPM モジュールは、信頼されたコンピューティンググループ (TCG) で定義されている TPM 2.0 に準拠しています。
- TPM の取り付けは、工場出荷後にサポートされます。ただし、TPM は一方向ネジで取り付けられるため、交換したり、アップグレードしたり、別のサーバに取り付けたりすることはできません。TPM を取り付けたいサーバを返却する場合は、交換用サーバを新しい TPM とともにオーダーする必要があります。サーバに既存の TPM がない場合、TPM 2.0 を取り付けることができます。取り付け場所と手順については、「[Cisco UCS B200 M6 サーバの設置ガイド](#)」を参照してください。

## ステップ 9 UCSM ソフトウェアの選択

スタンドアロン UCS B200 M6 ブレード PID (UCSB-B200-M6-UPG) の場合、UCSM ソフトウェアバージョンを選択する必要があります。



### 注：

- これは、UCS B200 M6 以降のスタンドアロン ブレードの新しい必須オプションです。
- UCS B200 M6 が CCW Ordering Tool のシャーシ内に構成される場合、UCSM ソフトウェアバージョンはシャーシ レベルで選択されます。その場合、UCS B200 M6 ではソフトウェア オプションを選択できません。
- UCS B200 M6 の推奨 UCS リリースは、UUCSM 4.2(1) です。これらのリリースは、ワット数がより高い CPU をサポートします。FI 6454 および / または VIC 1400 には UCSM 4.0(1) 以降のリリースが必要です。

表 18 から 1 つのソフトウェア PID を選択します。

表 18 使用可能な UCSM ソフトウェア

製品 ID (PID)	製品の説明	Software Version
N20-FW018	UCS 5108 ブレード シャーシ FW パッケージ 4.2	UCSM 4.2

## ステップ 10 オペレーティング システムと付加価値ソフトウェアを選択する



注：オペレーティングシステムのガイダンスについては、  
<https://ucshcltool.cloudapps.cisco.com/public/> を参照してください。

このサーバでサポートされている OS とソフトウェアの詳細については、「Hardware & Software Compatibility List (HCL) (ハードウェア / ソフトウェア互換性リスト (HCL))」 [ 英語 ] を参照してください。

### 選択

- OEM ソフトウェア (表 19)
- オペレーティング システム (表 20)

表 19 OEM ソフトウェア

製品 ID (PID)	PID の説明
<b>VMware vCenter</b>	
VMW-VCS-STD-1A	VMware vCenter 6 Server Standard、1 年サポートが必要
VMW-VCS-STD-3A	VMware vCenter 6 Server Standard、3 年サポートが必要
VMW-VCS-STD-5A	VMware vCenter 6 Server Standard、5 年サポートが必要
VMW-VCS-FND-1A	VMware vCenter 6 Server Foundation (4 ホスト)、1 年サポートが必要
VMW-VCS-FND-3A	VMware vCenter 6 Server Foundation (4 ホスト)、3 年サポートが必要
VMW-VCS-FND-5A	VMware vCenter 6 Server Foundation (4 ホスト)、5 年サポートが必要

表 20 オペレーティング システム

製品 ID (PID)	PID の説明
<b>Microsoft Windows Server</b>	
MSWS-19-DC16C	Windows Server 2019 Data Center (16 コア / VM 無制限)
MSWS-19-DC16C-NS	Windows Server 2019 DC (16 コア / VM 無制限)、Cisco SVC なし
MSWS-19-ST16C	Windows Server 2019 Standard (16 コア / 2 VM)
MSWS-19-ST16C-NS	Windows Server 2019 Standard (16 コア / 2 VM)、Cisco SVC なし
MSWS-22-DC16C	Windows Server 2022 Data Center (16 コア / VM 無制限)



表 20 オペレーティング システム (続き)

製品 ID (PID)	PID の説明
MSWS-22-DC16C-NS	Windows Server 2022 DC (16 コア /VM 無制限)、Cisco SVC なし
MSWS-22-DCA2C	Windows Server 2022 Data Center : 2 コア追加
MSWS-22-DCA2C-NS	Windows Server 2022 DC : 2 コア追加、Cisco SVC なし
MSWS-22-ST16C	Windows Server 2022 Standard (16 コア /2 VM)
MSWS-22-ST16C-NS	Windows Server 2022 Standard (16 コア /2 VM)、Cisco SVC なし
MSWS-22-STA2C	Windows Server 2022 Standard : 2 コア追加
MSWS-22-STA2C-NS	Windows Server 2022 Standard : 2 コア追加、Cisco SVC なし
<b>Red Hat</b>	
RHEL-2S2V-1A	Red Hat Enterprise Linux (1 ~ 2 CPU、1 ~ 2 VN)、1 年サポートが必要
RHEL-2S2V-3A	Red Hat Enterprise Linux (1 ~ 2 CPU、1 ~ 2 VN)、3 年サポートが必要
RHEL-2S2V-5A	Red Hat Enterprise Linux (1 ~ 2 CPU、1 ~ 2 VN)、5 年サポートが必要
RHEL-VDC-2SUV-1A	仮想データセンター用 RHEL (1 ~ 2 CPU、VN 無制限)、1 年サポートが必要
RHEL-VDC-2SUV-3A	仮想データセンター用 RHEL (1 ~ 2 CPU、VN 無制限)、3 年サポートが必要
RHEL-VDC-2SUV-5A	仮想データセンター用 RHEL (1 ~ 2 CPU、VN 無制限)、5 年サポートが必要
<b>Red Hat Ent Linux/High Avail/Res Strg/Scal</b>	
RHEL-2S2V-1S	Red Hat Enterprise Linux (1 ~ 2 CPU、1 ~ 2 VN)、Prem 1 年 SnS
RHEL-2S2V-3S	Red Hat Enterprise Linux (1 ~ 2 CPU、1 ~ 2 VN)、Prem 3 年 SnS
RHEL-2S-HA-1S	RHEL High Availability (1 ~ 2 CPU)、Prem 1 年 SnS
RHEL-2S-HA-3S	RHEL High Availability (1 ~ 2 CPU)、Prem 3 年 SnS
RHEL-2S-RS-1S	RHEL Resilient Storage (1-2 CPU)、プレミアム 1 年 SnS
RHEL-2S-RS-3S	RHEL Resilient Storage (1-2 CPU)、プレミアム 3 年 SnS
RHEL-VDC-2SUV-1S	仮想データセンター用 RHEL (1 ~ 2 CPU、VN 無制限)、1 年 SnS が必要
RHEL-VDC-2SUV-3S	仮想データセンター用 RHEL (1 ~ 2 CPU、VN 無制限)、3 年 SnS が必要
<b>Red Hat SAP</b>	
RHEL-SAP-2S2V-1S	SAP アプリケーション用 RHEL (1 ~ 2 CPU、1 ~ 2 VN)、Prem 1 年 SnS
RHEL-SAP-2S2V-3S	SAP アプリケーション用 RHEL (1 ~ 2 CPU、1 ~ 2 VN)、Prem 3 年 SnS
<b>VMware</b>	
VMW-VSP-STD-1A	VMware vSphere 6 Standard (1 CPU)、1 年サポートが必要
VMW-VSP-STD-3A	VMware vSphere 6 Standard (1 CPU)、3 年サポートが必要

表 20 オペレーティング システム (続き)

製品 ID (PID)	PID の説明
VMW-VSP-STD-5A	VMware vSphere 6 Standard (1 CPU)、5 年サポートが必要
VMW-VSP-EPL-3A	VMware vSphere 6 Ent Plus (1 CPU)、3 年サポートが必要
VMW-VSP-EPL-1A	VMware vSphere 6 Ent Plus (1 CPU)、1 年サポートが必要
VMW-VSP-EPL-5A	VMware vSphere 6 Ent Plus (1 CPU)、5 年サポートが必要
<b>SuSE</b>	
SLES-2S2V-1A	SUSE Linux Enterprise Server (1 ~ 2 CPU、1 ~ 2 VM)、1 年サポートが必要
SLES-2S2V-3A	SUSE Linux Enterprise Server (1 ~ 2 CPU、1 ~ 2 VM)、3 年サポートが必要
SLES-2S2V-5A	SUSE Linux Enterprise Server (1 ~ 2 CPU、1 ~ 2 VM)、5 年サポートが必要
SLES-2S2V-1S	SUSE Linux Enterprise Server (1 ~ 2 CPU、1 ~ 2 VM)、優先 1 年 SnS
SLES-2S2V-3S	SUSE Linux Enterprise Server (1 ~ 2 CPU、1 ~ 2 VM)、優先 3 年 SnS
SLES-2S2V-5S	SUSE Linux Enterprise Server (1 ~ 2 CPU、1 ~ 2 VM)、優先 5 年 SnS
SLES-2S-HA-1S	SUSE Linux 高可用性拡張 (1 ~ 2 CPU)、1 年 SnS
SLES-2S-HA-3S	SUSE Linux 高可用性拡張 (1 ~ 2 CPU)、3 年 SnS
SLES-2S-HA-5S	SUSE Linux 高可用性拡張 (1 ~ 2 CPU)、5 年 SnS
SLES-2S-GC-1S	SUSE Linux HA 対応 Geo クラスタリング (1 ~ 2 CPU)、1 年 SnS
SLES-2S-GC-3S	SUSE Linux HA 対応 Geo クラスタリング (1 ~ 2 CPU)、3 年 SnS
SLES-2S-GC-5S	SUSE Linux HA 対応 Geo クラスタリング (1 ~ 2 CPU)、5 年 SnS
SLES-2S-LP-1S	SUSE Linux Live パッチ アドオン (1 ~ 2 CPU)、1 年 SnS が必要
SLES-2S-LP-3S	SUSE Linux Live パッチ アドオン (1 ~ 2 CPU)、3 年 SnS が必要
SLES-2S-LP-1A	SUSE Linux Live Patching アドオン (1 ~ 2 CPU)、1 年サポートが必要
SLES-2S-LP-3A	SUSE Linux Live Patching アドオン (1 ~ 2 CPU)、3 年サポートが必要
<b>SLES および SAP</b>	
SLES-SAP-2S2V-1A	SAP アプリケーション用 SLES (1 ~ 2 CPU、1 ~ 2 VM)、1 年サポートが必要
SLES-SAP-2S2V-3A	SAP アプリケーション用 SLES (1 ~ 2 CPU、1 ~ 2 VM)、3 年サポートが必要
SLES-SAP-2S2V-5A	SAP アプリケーション用 SLES (1 ~ 2 CPU、1 ~ 2 VM)、5 年サポートが必要
SLES-SAP-2S2V-1S	SAP アプリケーション用 SLES (1 ~ 2 CPU、1 ~ 2 VM)、優先 1 年 SnS
SLES-SAP-2S2V-3S	SAP アプリケーション用 SLES (1 ~ 2 CPU、1 ~ 2 VM)、優先 3 年 SnS
SLES-SAP-2S2V-5S	SAP アプリケーション用 SLES (1 ~ 2 CPU、1 ~ 2 VM)、優先 5 年 SnS

## ステップ 11 オプションのリカバリ メディアを選択します

オプションのリカバリ メディアを以下から選択します。表 21

表 21 OS メディア

製品 ID (PID)	PID の説明
MSWS-19-ST16C-RM	Windows Server 2019 Standard (16 コア/2 VM) 、リカバリ メディア DVD のみ
MSWS-19-DC16C-RM	Windows Server 2019 DC (16 コア/VM 無制限) 、リカバリ メディア DVD のみ
MSWS-22-ST16C-RM	Windows Server 2022 Standard (16 コア /2 VM)、リカバリメディア DVD のみ
MSWS-22-DC16C-RM	Windows Server 2022 DC (16 コア /VM 無制限)、リカバリメディア DVD のみ

## ステップ 12 サービス レベルとサポート レベルを選択する

必要なサービス オプションをご利用いただけます。

### Unified Computing Warranty (契約なし)

ご使用システムの重要性が高くない場合は、サービスなしの契約をお選びいただけます。提供される内容は次のとおりです。

- 3 年間のパーツ提供対応
- 翌営業日 (NBD) のパーツ交換、8 時間 / 日、5 日 / 週
- 90 日間のソフトウェア保証 (メディア対象)
- BIOS、ドライバ、ファームウェアのアップデートの継続的ダウンロード
- UCSM アップデート (Unified Computing System Manager を使用するシステムの場合)。このアップデートには、公開されている仕様、リリース ノート、業界標準への UCSM のコンプライアンスを維持するためのマイナー拡張やバグ修正が含まれます。

### Cisco UCS 向け Smart Net Total Care (SNTC)

Unified Computing システムの全体サポートについては、Cisco は UCS サービス向けに Cisco Smart Net Total Care (SNTC) Total Care を提供します。このサービスでは、エキスパートによるソフトウェアおよびハードウェアへのサポートを行い、Unified Computing 環境におけるパフォーマンスの維持と高可用性の実現へのお手伝いをいたします。世界中のどこからでも Cisco Technical Assistance Center (TAC) に 24 時間いつでもアクセスできます

Unified Computing System Manager (UCSM) を含むシステム向けには、UCSM アップグレードのダウンロードをはじめとしたサポート サービスを提供いたします。Cisco Smart Net Total Care は、各種ハードウェア交換オプションをご用意し、2 時間以内の交換などにも対応しています。また、シスコの豊富なオンラインテクニカルリソースにもアクセスできます。Unified Computing 環境において最大の効率性とアップタイムを実現するためにご活用いただけます。詳細については、次の URL を参照してください。

<http://www.cisco.com/c/en/us/services/technical/smart-net-total-care.html?stickynav=1>

表 22 の一覧から希望のサービスを選択できます。

表 22 UCS サービス向け Cisco SNTC (PID UCSB-B200-M6)

サービス SKU	サービス レベル GSP	オンサイト?	説明
CON-PREM-UCSBB2M6	C2P	対応	SNTC 24X7X20S
CON-UCSD8-UCSBB2M6	UCSD8	対応	UC SUPP DR 24X7X20S*
CON-C2PL-UCSBB2M6	C2PL	対応	LL 24X7X20S**
CON-OSP-UCSBB2M6	C4P	対応	SNTC 24X7X40S

表 22 UCS サービス 向け Cisco SNTC (PID UCSB-B200-M6) (続き)

サービス SKU	サービス レベル GSP	オンサイト?	説明
CON-UCSD7-UCSBB2M6	UCSD7	対応	UCS DR 24X7X40S*
CON-C4PL-UCSBB2M6	C4PL	対応	LL 24X7X40S**
CON-USD7L-UCSBB2M6	USD7L	対応	LLUCS HW DR 24X7X40S***
CON-OSE-UCSBB2M6	C4S	対応	SNTC 8X5X40S
CON-UCSD6-UCSBB2M6	UCSD6	対応	UC SUPP DR 8X5X40S*
CON-SNCO-UCSBB2M6	SNCO	対応	SNTC 8x7xNCDOS****
CON-OS-UCSBB2M6	CS	対応	SNTC 8X5XNBDOS
CON-UCSD5-UCSBB2M6	UCSD5	対応	UCS DR 8X5XNBDOS*
CON-S2P-UCSBB2M6	S2P	なし	SNTC 24X7X2
CON-S2PL-UCSBB2M6	S2PL	なし	LL 24X7X2**
CON-SNTP-UCSBB2M6	SNTP	なし	SNTC 24X7X4
CON-SNTPL-UCSBB2M6	SNTPL	なし	LL 24X7X4**
CON-SNTE-UCSBB2M6	SNTE	なし	SNTC 8X5X4
CON-SNC-UCSBB2M6	SNC	なし	SNTC 8x7xNCD
CON-SNT-UCSBB2M6	SNT	なし	SNTC 8X5XNBD
CON-SW-UCSBB2M6	SW	なし	SNTC NO RMA
注：PID UCSB-B200-M6-U の場合、接尾辞が UCSB2M6U のサービス SKU を選択します (例：CON-UCW7-UCSB2M6U)			
PID UCSB-B200-M6-CH の場合、接尾辞が UCSB2M6C のサービス SKU を選択します (例：CON-OSP-UCSB2M6C)			
PID UCSB-B200-M6-BR の場合、接尾辞が UCSB2M6B のサービス SKU を選択します (例：CON-OSP-UCSB2M6B)			
PID UCSB-B200-M6-U-BR の場合、UCSB2M6UBサフィックスを持つサービスSKUを選択します (例：CON-OSP-UCSB2M6UB)			
* Drive Retention を含む (詳細は後述の説明を参照) 16-04-2019 04:28			
** ローカル言語サポートを含む (詳細は後述の説明を参照) - 中国と日本でのみ利用可能			
*** ローカル言語サポートと Drive Retention を含む - 中国と日本でのみ利用可能			

## Cisco UCS 向け Smart Net Total Care オンサイト トラブルシューティング サービス

従来の Smart Net Total Care を拡張したサービスです。お客様の Cisco Unified Computing System (UCS) 環境内で発生したハードウェア問題を診断および切り離す際に役立つ、オンサイト トラブルシューティングの専門知識を提供します。このサービスは、シスコ認定フィールド エンジニア (FE) がリモートの TAC エンジニアおよび仮想インターネット ワーキング サポート エンジニア (VISE) と協力して提供します。表 23 の一覧から希望のサービスを選択できます。

表 23 Cisco UCS 向け SNTC オンサイト トラブルシューティング サービス (PID UCSB-B200-M6)

サービス SKU	サービス レベル GSP	オン サイト対応	説明
CON-OSPT-UCSBB2M6	OSPT	対応	24X7X40S Trblshtg
CON-OSPTD-UCSBB2M6	OSPTD	対応	24X7X40S TrblshtgDR*
CON-OSPTL-UCSBB2M6	OSPTL	対応	24X7X40S TrblshtgLL**
CON-OPTLD-UCSBB2M6	OPTLD	対応	24X7X40S TrblshtgLLD***
注：PID UCSB-B200-M6-U の場合、接尾辞が UCSB2M6U のサービス SKU を選択します (例：CON-OSPT-UCSB2M6U)			
PID UCSB-B200-M6-CH の場合、接尾辞が UCSB2M6C のサービス SKU を選択します (例：CON-OSPT-UCSB2M6C)			
PID UCSB-B200-M6-BR の場合、接尾辞が UCSB2M6B のサービス SKU を選択します (例：CON-OSPT-UCSB2M6B)			
PID UCSB-B200-M6-U-BR の場合、UCSB2M6UBサフィックスを持つサービスSKUを選択します (例：CON-OSPT-UCSB2M6UB)			
* Drive Retention を含む (詳細は後述の説明を参照) 16-04-2019 04:28			
** ローカル言語サポートを含む (詳細は後述の説明を参照) - 中国と日本でのみ利用可能			
*** ローカル言語サポートと Drive Retention を含む - 中国と日本でのみ利用可能			

## UCS 向けソリューション サポート

ソリューション サポートには、シスコ製品のサポートとソリューションレベルのサポートの両方が含まれており、マルチベンダー環境の複雑な問題の解決時間が、製品サポート単体の場合と比べて平均で 43 % 以上短縮されます。ソリューション サポートは、データセンター管理における重要な要素であり、パフォーマンス、信頼性、投資回収率を維持しながら、発生した問題の迅速な解決を支援します。

このサービスは、エコシステムに展開したシスコ製品とソリューション パートナーの製品の両方に対応するため、マルチベンダーのシスコ環境全体でサポートが一元化されます。シスコとソリューションパートナーのどちらの製品に問題がある場合でも、シスコにご連絡ください。シスコのエキスペートが主な連絡窓口となり、最初のお電話から問題の解決までお客様をサポートします。詳細については、次の URL を参照してください。

<http://www.cisco.com/c/en/us/services/technical/solution-support.html?stickynav=1>

に記載されている 中から 希望の サービスを 選択 できます **表 24**。

**表 24 UCS サービス 向け ソリューション サポート (PID UCSB-B200-M6)**

サービス SKU	サービス レベル GSP	オン サイト対応	説明
CON-SSC2P-UCSBB2M6	SSC2P	対応	SOLN SUPP 24X7X2OS
CON-SSC4P-UCSBB2M6	SSC4P	対応	SOLN SUPP 24X7X4OS
CON-SSC4S-UCSBB2M6	SSC4S	対応	SOLN SUPP 8X5X4OS
CON-SSCS-UCSBB2M6	SSCS	対応	SOLN SUPP 8X5XNBDOS
CON-SSDR7-UCSBB2M6	SSDR7	対応	SSPT DR 24X7X4OS*
CON-SSDR5-UCSBB2M6	SSDR5	対応	SSPT DR 8X5XNBDOS*
CON-SSS2P-UCSBB2M6	SSS2P	なし	SOLN SUPP 24X7X2
CON-SSSNP-UCSBB2M6	SSSNP	なし	SOLN SUPP 24X7X4
CON-SSSNE-UCSBB2M6	SSSNE	なし	SOLN SUPP 8X5X4
CON-SSSNC-UCSBB2M6	SSSNC	なし	SOLN SUPP NCD
CON-SSSNT-UCSBB2M6	SSSNT	なし	SOLN SUPP 8X5XNBD
注 : PID UCSB-B200-M6-U の場合、接尾辞が UCSB2M6U のサービス SKU を選択します (例 : CON-SSC4P-UCSB2M6U)			
PID UCSB-B200-M6-CH の場合、接尾辞が UCSB2M6C のサービス SKU を選択します (例 : CON-SSC4P-UCSB2M6C)			
PID UCSB-B200-M6-BR の場合、接尾辞が UCSB2M6B のサービス SKU を選択します (例 : CON-SSC4P-UCSB2M6B)			
PID UCSB-B200-M6-U-BR の場合、接尾辞が UCSB2M6UB のサービス SKU を選択します (例 : CON-SSC4P-UCSB2M6UB)			
* Drive Retention を含む (詳細は後述の説明を参照) 16-04-2019 04:28			

## Smart Net Total Care for UCS Hardware Only Service

Cisco Unified Computing System の標準の保証期間より短期間での部品交換をご希望のお客様には、Cisco Smart Net Total Care for UCS Hardware Only Service を提供しています。4時間以内のオンサイト部品交換など、2つのレベルの高度な部品交換サービスからお選びいただけます。Smart Net Total Care for UCS Hardware Only Service では、返品許可 (RMA) が必要であるかの判断を行う、シスコのサポートプロフェッショナルにいつでもリモートアクセスできます。記載されている中から希望のサービスを選択できます [表 25](#)。

**表 25 UCS ハードウェア専用サービスの SNTC (PID UCSB-B200-M6)**

サービス SKU	サービス レベル GSP	オンサイト?	説明
CON-UCW7-UCSBB2M6	UCW7	対応	UCS HW 24X7X40S
CON-UCWD7-UCSBB2M6	UCWD7	対応	UCS HW + DR 24X7X40S *
CON-UCW7L-UCSBB2M6	UCW7L	対応	LL 24X7X40S**
CON-UWD7L-UCSBB2M6	UWD7L	対応	UCS DR 24X7X40S*
CON-UCW5-UCSBB2M6	UCW5	対応	UCS HW 8X5XNBDOS
CON-UCWD5-UCSBB2M6	UCWD5	対応	UCS HW+DR 8X5XNBDOS*
注：PID UCSB-B200-M6-U の場合、接尾辞が UCSB2M6U のサービス SKU を選択します (例：CON-UCW7-UCSB2M6U)			
PID UCSB-B200-M6-CH の場合、接尾辞が UCSB2M6C のサービス SKU を選択します (例：CON-UCW7-UCSB2M6C)			
PID UCSB-B200-M6-BR の場合、接尾辞が UCSB2M6B のサービス SKU を選択します (例：CON-UCW7-UCSB2M6B)			
PID UCSB-B200-M6-BR の場合、接尾辞が UCSB2M6UB のサービス SKU を選択します (例：CON-UCW7-UCSB2M6UB)。			
* Drive Retention を含む (詳細は後述の説明を参照) 16-04-2019 04:28			
** ローカル言語サポートを含む (詳細は後述の説明を参照) - 中国と日本でのみ利用可能			
*** ローカル言語サポートと Drive Retention を含む - 中国と日本でのみ利用可能			



## UCS のパートナー向け サポート サービス

Cisco パートナー サポート サービス (PSS) は、パートナーが独自のブランドサポートやマネージドサービスを企業顧客に提供するために設計されたシスココラボレーションサービスメニューです。Cisco PSS を利用すれば、パートナーは、to シスコのサポート インフラストラクチャや資産にアクセスして次のような目的に役立てることができます。

- 最も複雑なネットワーク環境に対応するためのサービスポートフォリオを拡充する
- 納入コストを削減する
- 顧客ロイヤルティを高めるサービスを提供する

PSS オプションを使用すれば、認定されたシスコパートナーは、シスコの知的資産を活用した価値の高いテクニカルサポートを開発し、一貫して提供することができます。これにより、パートナーはより高いマージンを獲得し、活動範囲を広げることができます。PSS は、すべての Cisco PSS パートナーがご利用できます。2 パートナー Unified コンピューティングサポートオプションには次が含まれます。

- UCS パートナー向け サポート サービス
- UCS ハードウェア専用パートナーサポート サービス

PSS は、シスコテクニカルリソースが支援するサードパーティソフトウェアのトリージサポートとレベル3サポートを含むハードウェアサポートとソフトウェアサポートを提供します。表 26 の一覧から希望のサービスを選択できます。

表 26 UCS の PSS (PID UCSB-B200-M6)

サービス SKU	サービス レベル GSP	オン サイト対応	説明
CON-PSJ8-UCSBB2M6	PSJ8	対応	UCS PSS 24X7X2 OS
CON-PSJ7-UCSBB2M6	PSJ7	対応	UCS PSS 24X7X4 OS
CON-PSJD7-UCSBB2M6	PSJD7	対応	UCS PSS 24X7X4 DR*
CON-PSJ6-UCSBB2M6	PSJ6	対応	UCS PSS 8X5X4 OS
CON-PSJD6-UCSBB2M6	PSJD6	対応	UCS PSS 8X5X4 DR*
CON-PSJ4-UCSBB2M6	PSJ4	なし	UCS SUPP PSS 24X7X2
CON-PSJ3-UCSBB2M6	PSJ3	なし	UCS SUPP PSS 24X7X4
CON-PSJ2-UCSBB2M6	PSJ2	なし	UCS SUPP PSS 8X5X4
CON-PSJ1-UCSBB2M6	PSJ1	なし	UCS SUPP PSS 8X5XNBD
注：PID UCSB-B200-M6-U の場合、接尾辞が UCSB2M6U のサービス SKU を選択します (例：CON-PSJ7-UCSB2M6U)			
PID UCSB-B200-M6-CH の場合、接尾辞が UCSB2M6C のサービス SKU を選択します (例：CON-PSJ7-UCSB2M6C)			

表 26 UCS の PSS (PID UCSB-B200-M6) (続き)

PID UCSB-B200-M6-BRの場合、UCSB2M6Bサフィックスの付いたサービスSKUを選択します (例：CON-PSJ7-UCSB2M6B)
PID UCSB-B200-M6-U-BRの場合、UCSB2M6UBサフィックス付きのサービスSKUを選択します (例：CON-PSJ7-UCSB2M6UB)
* Drive Retention を含む (詳細は後述の説明を参照) 16-04-2019 04:28

## UCS ハードウェア専用の PSS

PSS ハードウェア 専用 PSS では、交換部品を 2 時間で提供し、返品許可 (RMA) が必要であるかの判断を行うサポート プロフェッショナルにいつでもリモート アクセスできます。に記載されている希望のサービスを選択できます [表 27](#)。

表 27 UCS ハードウェア 専用の PSS (PID UCSB-B200-M6)

サービス SKU	サービス レベル GSP	オン サイト対応	説明
CON-PSW7-UCSBB2M6	PSW7	対応	UCS W PSS 24X7X4 OS
CON-PSWD7-UCSBB2M6	PSWD7	対応	UCS W PSS 24X7X4 DR*
CON-PSW6-UCSBB2M6	PSW6	対応	UCS W PSS 8X5X4 OS
CON-PSWD6-UCSBB2M6	PSWD6	対応	UCS W PSS 8X5X4 DR*
CON-PSW4-UCSBB2M6	PSW4	なし	UCS W PL PSS 24X7X2
CON-PSW3-UCSBB2M6	PSW3	なし	UCS W PL PSS 24X7X4
CON-PSW2-UCSBB2M6	PSW2	なし	UCS W PL PSS 8X5X4
注：PID UCSB-B200-M6-U の場合、接尾辞が UCSB2M6U のサービス SKU を選択します (例：CON-PSW7-UCSB2M6U)			
PID UCSB-B200-M6-CH の場合、接尾辞が UCSB2M6C のサービス SKU を選択します (例：CON-PSW7-UCSB2M6C)			
PID UCSB-B200-M6-BRの場合、UCSB2M6Bサフィックスの付いたサービスSKUを選択します (例：CON-PSW7-UCSB2M6B)			
PID UCSB-B200-M6-U-BRの場合、UCSB2M6UBサフィックス付きのサービスSKUを選択します (例：CON-PSW7-UCSB2M6UB)			
* Drive Retention を含む (詳細は後述の説明を参照) 16-04-2019 04:28			

## Unified Computing Combined Support サービス

Combined Services は、1つの契約で必要なサービスの購入と管理を容易にします。UCS 向けの SNTC サービスは、不可欠なデータセンターインフラストラクチャの可用性を向上させ、Unified Computing への投資から最大の価値を引き出します。Cisco Unified Computing System (Cisco UCS) から得られるメリットが大きいほど、お客様のビジネスにとってテクノロジーが重要になります。これらのサービスを使用すれば、次のことが可能になります。

- UCS のアップタイム、パフォーマンス、および効率性を最適化する
- 問題を迅速に特定して対処することによって、重要なビジネスアプリケーションを保護する
- 情報伝達とメンタリングを通じて、社内の専門知識を強化する
- UCS エキスパートによって社内スタッフの稼働率が高められることで、業務の効率化を図る
- への影響が発生する前に潜在的な問題を診断することで your ビジネスの俊敏性を高める運用

に記載されている希望のサービスを選択できます [表 28](#)

表 28 UCS の複合サポート サービス (PID UCSB-B200-M6)

サービス SKU	サービス レベル GSP	オン サイト対応	説明
CON-NCF2P-UCSBB2M6	NCF2P	対応	CMB SVC 24X7X2OS
CON-NCF4P-UCSBB2M6	NCF4P	対応	CMB SVC 24X7X4OS
CON-NCF4S-UCSBB2M6	NCF4S	対応	CMB SVC 8X5X4OS
CON-NCFCS-UCSBB2M6	NCFCS	対応	CMB SVC 8X5XNBDOS
CON-NCF2-UCSBB2M6	NCF2	なし	CMB SVC 24X7X2
CON-NCFP-UCSBB2M6	NCFP	なし	CMB SVC 24X7X4
CON-NCFE-UCSBB2M6	NCFE	なし	CMB SVC 8X5X4
CON-NCFT-UCSBB2M6	NCFT	なし	CMB SVC 8X5XNBD
CON-NCFW-UCSBB2M6	NCFW	なし	CMB SVC SW
注：PID UCSB-B200-M6-U の場合、接尾辞が UCSB2M6U のサービス SKU を選択します (例：CON-NCF4P-UCSB2M6U)			
PID UCSB-B200-M6-CH の場合、接尾辞が UCSB2M6C のサービス SKU を選択します (例：CON-NCF4P-UCSB2M6C)			
PID UCSB-B200-M6-BR の場合、接尾辞が UCSB2M6B のサービス SKU を選択します (例：CON-NCF4P-UCSB2M6B)			
PID UCSB-B200-M6-U-BR の場合、接尾辞が UCSB2M6UB のサービス SKU を選択します (例：CON-NCF4P-UCSB2M6UB)			

## UCS Drive Retention サービス

Cisco Unified Computing Drive Retention サービスは、障害 ディスク の 部品 交換 にあたり、故障した ディスク ドライブの 返却 なしに、交換用の 新しいドライブ を提供 する サービス です。

故障した ディスク ドライブ であっても、高度な データ リカバリ技術により、極秘情報、所有権情報、機密情報などの セキュリティが 危険にさらされる 可能性があります。このサービスを利用してドライブを手元に 保持したまま 破棄 すれば、こうしたドライブの 機密 データ が 脅かされることがなくなり、機密 漏えい 責任を 問われる リスク が 軽減します。このサービスは、規制 や 国 および 地方で 定められた要件への 遵守 にも 役立ちます。

社内で 機密 データ、秘密 データ、極秘 データ、および 専有 データ を 管理する 必要がある 場合は、前出 の表に示した Drive Re tention サービス のいずれかを検討してください (利用可能な場合)。



注：このサービスには、証明書付きドライブ破壊サービスは含まれません。

---

## UCS のローカル言語テクニカル サポート

利用可能な場合は、追加料金の支払いを受けた上で、割り当てられたすべての重大度レベルについて、特定製品に対するコールのローカル言語サポートを利用できます。前述の表を参照。

Cisco Unified Computing System 向けの全サービス一覧は、次の URL でご覧いただけます。

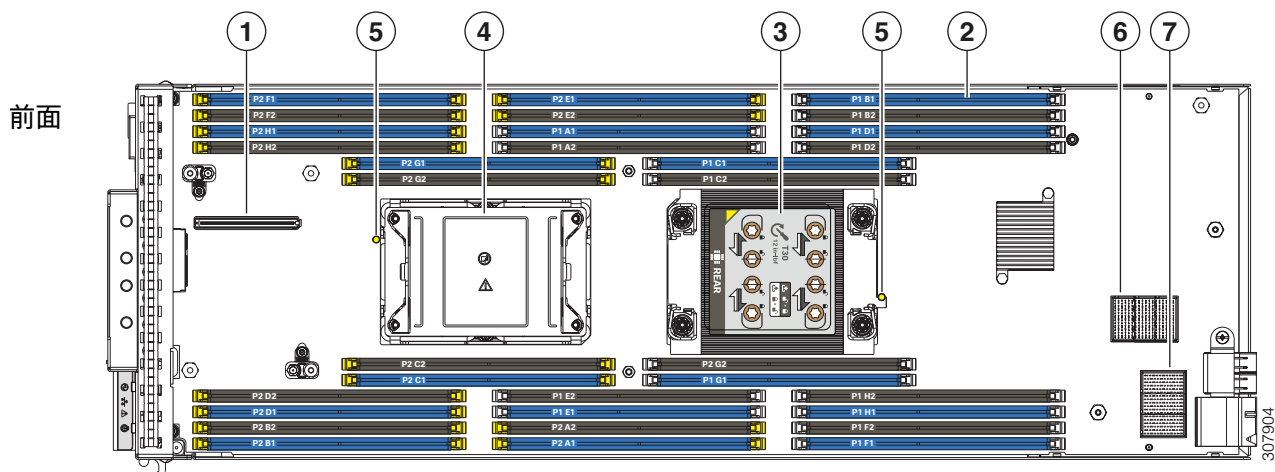
[http://www.cisco.com/en/US/products/ps10312/serv\\_group\\_home.html](http://www.cisco.com/en/US/products/ps10312/serv_group_home.html)

## 参考資料

### システム ボード

図4 に、UCS B200 M4 システム ボードの上面図を示します。

図 4 UCS B200 M6 システム ボード



1	フロント メザニン コネクタ	5	CPU ヒートシンク取り付けガイドピン
2	DIMM スロット DIMM は白または黄色のラッチで固定されています 白色のラッチは、メモリが CPU 1 に接続されていることを示します。 黄色のラッチは、メモリが CPU 2 に接続されていることを示します。	6	mLOM コネクタ
3	CPU ソケット 1 (装着済み) CPU 1 が白い DIMM ラッチで DIMM に接続されています この CPU ソケットは常に装着する必要があります	7	リア メザニン コネクタ
4	CPU ソケット 2 (装着済み) CPU 2 は黄色の DIMM ラッチで DIMM に接続します この CPU ソケットは、通常のデュアル CPU 展開で装着されます。サーバを 1 つの CPU のみで実行する場合は、CPU を CPU ソケット 1 に取り付ける必要があります。	-	-



**注意：** 黄色のラッチが付いたソケットに取り付けられた DIMM は、白色のラッチが付いたソケットの DIMM に対して 180 度逆向きになっています。DIMM の損傷を防ぐため、挿入する前に DIMM のノッチ キーをソケットのキーに合わせてください。

## メモリ構成とミラーリング

メモリ ミラーリング PID (N01-MMIRROR) が [表 6 DDR4 DIMM および PMem が利用可能ページ 14](#) で選択されている場合、工場では [表 30 \(48 ページ\)](#) で示されているように DIMM が配置されます。

各 CPU に 8 つの DIMM チャンネルがあります。

- CPU1 (P1) にはチャンネル A、B、C、D、E、F、G、および H があります。
- CPU2 (P2) にはチャンネル A、B、C、D、E、F、G、および H があります。

各 DIMM チャンネルに 2 個の スロット (スロット 1 と スロット 2) があります。青の DIMM スロットが スロット 1 用で、黒の スロット が スロット 2 用です。

例として、DIMM スロット A1、B1、C1、D1、E1、F1、G1、および H1 は、スロット 1 に属し、A2、B2、C2、D2、E2、F2、G2、H2 に属します。

[図 4、\(45 ページ\)](#) マザーボード上の スロット および チャンネルの物理的な配置を示します。チャンネル A、B、C、D、E、F、G、および H の DIMM スロットは CPU 1 (P1) に関連付けられ、チャンネル A、B、C、D、E、F、G および H の DIMM スロットは CPU 2 (P2) に関連付けられています。スロット 1 (青) の DIMM スロットは必ず、対応する スロット 2 (黒) の スロットよりも CPU から離れた一にあります。

すべての許容可能な DIMM 装着については、「B200 M6 サービスおよびインストール ガイド」の「メモリ装着ガイドライン」のセクションを参照してください。

[https://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/unified\\_computing/ucs/hw/blade-servers/B200M6.pdf](https://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/unified_computing/ucs/hw/blade-servers/B200M6.pdf)

詳細については、「Cisco UCS C220 / C240 / B200 M6 メモリ ガイド」を参照してください。

<https://www.cisco.com/c/dam/en/us/products/collateral/servers-unified-computing/ucs-c-series-rack-servers/c220-c240-b200-m6-memory-guide.pdf>

メモリ構成については、次の項目を考慮に入れます。

- 各チャンネルには DIMM スロットが 2 つあります (例えば、チャンネル A = スロット A1 と A2)。
  - チャンネルは DIMM が 1 つまたは 2 つ装着された状態で動作できます。
- 両方の CPU は取り付けられている場合、各 CPU の DIMM スロットへの装着方法を同一にします。
- CPU が取り付けられていない DIMM ソケットでは、DIMM を装着しても認識されません。
- に示されている DIMM の混合ルールを [表 29 \(47 ページ\)](#) 確認してください。

表 29 B200 M6 サーバの DIMM ルール

DIMM パラメータ	同一チャネル内の DIMM	同じスロット内の DIMM <sup>1</sup>
DIMM キャパシティ RDIMM = 16、32、または 64 GB LRDIMM = 128 GB	同じチャネル内の DIMM (A1、A2 など) のキャパシティを同じにする必要はありません。  RDIMMS と LRDIMM を混在させないでください	最適なパフォーマンスを得るためには、同じスロット内の DIMM (A1、B1、C1、D1、E1、G1、H1、F1 など) のキャパシティを同じにする必要があります。  RDIMMS と LRDIMM を混在させない
DIMM 速度 3200 MHz	DIMM は取り付けられた CPU の最低速度で動作します	DIMM は取り付けられた CPU の最低速度で動作します
DIMM タイプ RDIMM または LRDIMM	同じチャネル内で DIMM タイプを混在させないでください	同じスロット内で DIMM タイプを混在させないでください

注:

1. 同じスロット内に異なる DIMM キャパシティを存在させることはできますが、最適な性能より低くなる可能性があります。最適な性能を得るためには、同じスロット内のすべての DIMM を同じにする必要があります。

■ DIMM/PMem のガイドラインは次のとおりです。

- DIMM スロットに装着されている DDR4 DIMM はすべて同じサイズである必要があります。
- メモリ スロットに装着された PMem はすべて同じサイズである必要があります。PMem サイズの混在は認められていません (たとえば、512 GB と 128 GB の PMem を同じサーバーに混在させることはできません)。
- PMem の 2 つの動作モード (App Direct およびメモリ モード) は、どちらも B200 M6 と互換性があります。
- シスコのサポート対象外のハードウェア構成を使用すると、パフォーマンスが低下したり、ブートアップ中にサポート対象外の警告が表示されたりすることがあります。

## メモリのミラーリング

メモリ ミラーリング PID (N01-MMIRROR) が [ステップ3 メモリを選択するページ13](#) で選択されている場合、工場では [表 30](#) で示されているように DIMM が配置されます。

- CPU あたり 4、6、8、または 12 枚の同じ DIMM を選択します。
- CPU が 1 基しか選択されていない場合は、[表 30](#) の CPU 1 の DIMM 配置列のみを参照してください。

表 30 メモリのミラーリング

DIMM ランク	チャンネル内の CPU 1 の DIMM 配置 (同速度の DIMM)	チャンネル内の CPU 2 の DIMM 配置 (同速度の DIMM)
4	(A1, B1), (D1, E1)	(A1, B1), (D1, E1)
6	(A1, B1); (C1, D1); (E1, F1)	(A1, B1), (C1, D1), (E1, F1)
8	(A1, B1); (D1, E1); (A2, B2); (D2, E2)	(A1, B1); (D1, E1); (A2, B2); (D2, E2)
12	(A1, B1); (C1, D1); (E1, F1); (A2, B2); (C2, D2); (E2, F2)	(A1, B1); (C1, D1); (E1, F1); (A2, B2); (C2, D2); (E2, F2)
16	(A1, B1); (C1, D1); (E1, F1); (G1, H1); (A2, B2); (C2, D2); (E2, F2), (G2, H2)	(A1, B1); (C1, D1); (E1, F1); (G1, H1); (A2, B2); (C2, D2); (E2, F2), (G2, H2)



## 第 3 世代 Intel®Xeon® スケーラブルプロセッサのメモリサポート (Ice Lake)

### PMem のサポート

Ice-Lake CPU は、次の 2 つのメモリ モードをサポートしています。

- App Direct モード
- メモリ モード

### App Direct モード

PMem は、ソリッドステート ディスク ストレージ デバイスとして動作します。データは保存され、不揮発性です。DCPMM と DIMM 両方の容量が CPU 容量の制限に対して考慮されます。

たとえば、App Direct モードが設定されており、CPU の DIMM ソケットに 8 x 256 GB DRAM (合計 2 TB の DRAM) と 8 x 512 GB PMEM (合計 4 TB の PMem) が装着されている場合、合計 6 TB が CPU の容量制限にカウントされます。App Direct Mode の Intel 推奨 DRAM : PMem 比に従います。

### メモリ モード

PMEM は、100% メモリ モジュールとして動作します。データは揮発性であり、DRAM は PMem のキャッシュとして機能します。PMEem キャパシティのみが、CPU キャパシティの制限に対してカウントされます。これは工場出荷時のデフォルト モードです。

たとえば、メモリモードが構成されており、CPU の DIMM ソケットに 8 x 128 GB の DRAM (合計 1 TB の DRAM) と 8 x 512 GB の PMem (合計 4 TB の PMem) が装着されている場合、合計 4 TB (PMem メモリ) のみが CPU の容量制限に対してカウントされます。すべての DRAM 容量 (1 TB) がキャッシュとして使用され、CPU 容量は考慮されません。メモリモードに推奨される Intel DRAM:PMem の比率は、1:4、1:8、1:16 です。

第 3 世代 Intel® Xeon® スケーラブル プロセッサ (Ice Lake) :

- DRAM および PMem がサポートされます
- 各 CPU には 16 個の DIMM ソケットがあり、次の最大メモリ容量をサポートします。
  - 128 GB DRAM x 16 個を使用した 2 TB、または
  - 256 GB DRAM X 8 および 512 GB™ モジュール (PMEM) X 8 を使用した 5 TB

CPU ソケットごとにサポートされる DRAM/PMem メモリ構成は次のとおりです。

- 4 DRAM と 4 PMem、または 8 DRAM と 4 PMem、または 8 DRAM と 1 PMem、または 8 DRAM と 8 PMem

使用可能な DRAM 容量は、16 GB、32 GB、64 GB、または 128 GB です。

使用可能な PMem 容量は、128 GB、256 GB、または 512 GB です。

詳細については、「C220 / C240 / B200 M6 メモリ ガイド」を参照してください。

<https://www.cisco.com/c/dam/en/us/products/collateral/servers-unified-computing/ucs-c-series-rack-servers/memory-guide-c220-c240-b200-m6.pdf>

## スペア部品

このセクションでは、UCS B480 M6 サーバ用のアップグレード関連部品と保守関連部品を示します。これらの部品の一部は、すべてのサーバ、またはすべての UCS 5108 ブレード サーバ シャーシとともに構成されます。

表 31 スペア部品


製品 ID (PID)	PID の説明
ローカル KVM I/O ケーブル	
N20-BKVM=	UCS サーバ コンソール ポート用の KVM ローカル IO ケーブル
<b>CPU</b>	
 <p>注：2 番目の CPU を注文する場合は、この表の「CPU アクセサリ」セクションを参照して、2 番目の CPU に注文する必要がある追加部品を確認してください。</p>	
<b>8000 シリーズ プロセッサ</b>	
UCS-CPU-I8380 =	
UCS-CPU-I8368 =	
UCS-CPU-I8362=	
UCS-CPU-I8360Y =	
UCS-CPU-I8358P =	
UCS-CPU-I8358 =	
UCS-CPU-I8352M=	
UCS-CPU-I8352Y =	
UCS-CPU-I8352V =	
UCS-CPU-I8352S =	
UCS-CPU-I8351N <sup>1</sup> =	
<b>6000 シリーズ プロセッサ</b>	
UCS-CPU-I6354 =	
UCS-CPU-I6348 =	
UCS-CPU-I6346 =	
UCS-CPU-I6342 =	
UCS-CPU-I6338N =	
UCS-CPU-I6338T=	

表 31 スペア部品 (続き)

製品 ID (PID)	PID の説明
UCS-CPU-I6338=	
UCS-CPU-I6336Y=	
UCS-CPU-I6334=	
UCS-CPU-I6330N=	
UCS-CPU-I6330=	
UCS-CPU-I6326=	
UCS-CPU-I6314U <sup>=2</sup>	
UCS-CPU-I6312U <sup>3</sup> =	
<b>5000 シリーズ プロセッサ</b>	
UCS-CPU-I5320T =	
UCS-CPU-I5320 =	
UCS-CPU-I5318N =	
UCS-CPU-I5318S=	
UCS-CPU-I5318Y=	
UCS-CPU-I5317=	
UCS-CPU-I5315Y=	
<b>4000 シリーズ プロセッサ</b>	
UCS-CPU-I4316=	
UCS-CPU-I4314=	
UCS-CPU-I4310T=	
UCS-CPU-I4310=	
UCS-CPU-I4309Y=	
<b>CPU アクセサリ</b>	
UCSB-HS-M6-F	UCS B シリーズ M6 CPU ソケット (前面) 用 CPU ヒートシンク
UCSB-HS-M6-R	UCS B シリーズ M6 CPU ソケット (背面) 用 CPU ヒートシンク
UCS-CPU-TIM=	M6 サーバ HS シール用単一 CPU サーマル インターフェイス マテリアル シリンジ
UCSX-HSCK=	UCS プロセッサ ヒート シンク クリーニング キット (CPU の交換時)
UCS-CPUAT=	M6 サーバ用 CPU アセンブリ ツール

表 31 スペア部品 (続き)

製品 ID (PID)	PID の説明
UCS-M6-CPU-CAR =	UCS M6 CPU キャリア
UCS-CPUATI-4 =	M6 サーバ用 CPX-4 CPU アセンブリ ツール
UCS-CPUATI-3 =	M6 サーバ用 ICX CPU アセンブリツール
<b>メモリ</b>	
UCS-MR-X16G1RW =	16 GB RDIMM SRx4 3200 (8Gb)
UCS-MR-X32G2RW =	32 GB RDIMM DRx4 3200 (8Gb)
UCS-MR-X32G1RW =	32GB RDIMM SRx4 3200 (16Gb)
UCS-MR-X64G2RW =	64 GB RDIMM DRx4 3200 (16Gb)
UCS-ML-128G4RW =	128 GB LRDIMM QRx4 3200 (16Gb)
UCS-MP-128GS-B0=	Intel® Optane™ パーシステント メモリ、128GB、3200 MHz
UCS-MP-256GS-B0 =	Intel® Optane™ パーシステント メモリ、256 GB、3200 MHz
UCS-MP-512GS-B0 =	Intel® Optane™ パーシステント メモリ、512 GB、3200 MHz
<b>DIMM ブランク</b>	
UCS-DIMM-BLK=	Cisco UCS DIMM ブランク
<b>背面メザニン アダプタ</b>	
UCSB-MLOM-40G-04=	ブレード サーバ用 Cisco UCS VIC 1440 モジュラ型 LOM
UCSB-MLOM-PT-01=	Cisco UCS VIC 用ポート エクスパンダ カード
UCSB-VIC-M84-4P=	Cisco UCS VIC 1480 メザニン アダプタ
<b>前面メザニン アダプタ</b>	
UCSB-RAID12G-M6 =	SAS/SATA ソリッド ステート ドライブ (SSD) 向けドライブ ベイ搭載の Cisco FlexStorage 12G RAID コントローラ
UCSB-LSTOR-PT-M6 =	PCIe NVMe ドライブ向けドライブ ベイ搭載の Cisco FlexStorage パススルー モジュール
UCSB-MSTOR-M6 =	最大 2 枚の SATA M.2 RAID カードを保持できるミニ ストレージ キャリア
<b>SATA SSD ドライブ</b>	
UCS-SD480GBI6-EP =	480GB 2.5 インチ Enterprise Performance 6GSATA SSD (3 倍の耐久性)
UCS-SD960GBI6-EP =	960GB 2.5 インチ Enterprise Performance 6GSATA SSD (3 倍の耐久性)
UCS-SD19TBI6-EP =	1.9TB 2.5 インチ Enterprise Performance 6GSATA SSD (3 倍の耐久性)

表 31 スペア部品 (続き)

製品 ID (PID)	PID の説明
UCS-SD480GBM6-EP =	480GB 2.5 インチ Enterprise Performance 6GSATA SSD (3 倍の耐久性)
UCS-SD960GBM6-EP =	960GB 2.5 インチ Enterprise Performance 6GSATA SSD (3 倍の耐久性)
UCS-SD19TM6-EP =	1.9TB 2.5 インチ Enterprise Performance 6GSATA SSD (3 倍の耐久性)
UCS-SD120GM6-EV=	Micron 5300
UCS-SD240GM6-EV=	Micron 5300
UCS-SD480GI6-EV=	Intel S4510
UCS-SD960GI6-EV=	Intel S4510
UCS-SD16TM6-EV=	Micron 5300
UCS-SD19TM6-EV=	Micron 5300
UCS-SD38TM6-EV=	Micron 5300
UCS-SD38TI6-EV=	Intel S4510
UCS-SD76TM6-EV=	Micron 5300
UCS-SD960GS6-EV=	Samsung PM883
UCS-SD19TS6-EV=	Samsung PM883
UCS-SD38TS6-EV=	Samsung PM883
UCS-SD78TS6-EV=	Samsung PM883
UCS-SD480GM6-EV=	480 GB 2.5 インチ Enterprise Value 6G SATA SSD
UCS-SD960GM6-EV=	960 GB 2.5 インチ Enterprise Value 6G SATA SSD
UCS-SD960GS26-EV=	960GB 2.5 インチ Enterprise Value 6G SATA SSD
UCS-SD19TS26-EV=	1.9 TB 2.5 インチ Enterprise Value 6 G SATA SSD
UCS-SD38TS26-EV=	3.8 TB 2.5 インチ Enterprise Value 6 G SATA SSD
UCS-SD78TS26-EV=	7.6TB 2.5 インチ Enterprise Value 6G SATA SSD
<b>NVMe SSD ドライブ</b>	
UCSB-NVMEM6-W800 =	800 GB 2.5in U.2 WD SN640 NVMe Med Perf. 高耐久性
UCSB-NVMEM6-W1920 =	1.9 TB 2.5in U.2 WD SN640 NVMe Med Perf. バリュースタイル耐久性
UCSB-NVMEM6-W3800 =	3.8 TB 2.5in U.2 WD SN640 NVMe Med Perf. バリュースタイル耐久性
UCSB-NVMEM6-W6400 =	6.4 TB 2.5in U.2 WD SN640 NVMe Med Perf. 高耐久性
<b>SED ドライブ</b>	

表 31 スペア部品 (続き)

製品 ID (PID)	PID の説明
UCS-SD960GBM2NK9 =	960GB Enterprise value SATA SSD (1X、SED)
UCS-SD38TBEM2NK9=	3.8 TB Enterprise Value SATA SSD (1X FWPD、SED)
UCS-SD76TBM6NK9	7.6 TB EGB Enterprise Value SATA SSD (1X、SED) Micron 5300
<b>SATA M.2 ストレージ モジュール</b>	
UCS-M2-240GB=	Micron 5100 240 G SATA M.2
UCS-M2-960GB=	Micron 5100 960 G SATA M.2
注 : M.2 SATA ドライブを注文する場合は、ブート最適化 RAID コントローラを選択する必要があります。	
<b>ブート最適化 RAID コントローラ</b>	
UCS-M2-HWRAID	Cisco ブート最適化 M.2 RAID コントローラ
<b>ドライブ ブランク</b>	
UCSB-FBLK-M6 =	Cisco B200 M6 7 mm 前面ドライブ ブランク
<b>TPM</b>	
UCSX-TPM-002C=	Whitley プロビジョニング用の信頼できるプラットフォーム モジュール
UCSX-TPM-OPT-OUT =	OPT OUT、TPM 2.0、TCG、FIPS140-2、CC EAL4 + 認定
<b>ソフトウェア / ファームウェア</b>	
<b>Windows Server Recovery Media</b>	
MSWS-19-ST16C-RM=	Windows Server 2019 Standard (16 コア /2 VM)、リカバリ メディア DVD のみ
MSWS-19-DC16C-RM=	Windows Server 2019 DC (16 コア /VM 無制限)、リカバリ メディア DVD のみ
MSWS-22-ST16C-RM=	Windows Server 2022 Standard (16 コア /2 VM)、リカバリメディア DVD のみ
MSWS-22-DC16C-RM=	Windows Server 2022 DC (16 コア /VM 無制限)、リカバリメディア DVD のみ
<b>RHEL SAP</b>	
RHEL-SAPSP-3S=	RHEL SAP Solutions Premium - 3 年間
RHEL-SAPSS-3S=	RHEL SAP Solutions Standard - 3 年間
RHEL-SAPSP-R-1S=	RHEL SAP ソリューション プレミアムの更新 -1 年間
RHEL-SAPSS-R-1S=	RHEL SAP ソリューション標準の更新 -1 年

表 31 スベア部品 (続き)

製品 ID (PID)	PID の説明
RHEL-SAPSP-R-3S=	RHEL SAP ソリューション プレミアムの更新 -3 年間
RHEL-SAPSS-R-3S=	RHEL SAP ソリューション標準を 3 年更新
<b>VMware vSphere</b>	
VMW-VSP-STD-1A=	VMware vSphere 7 Std (1 CPU、32 Core) 1 年サポートが必要
VMW-VSP-STD-3A=	VMware vSphere 7 Std (1 CPU、32 Core) 3 年サポートが必要
VMW-VSP-STD-5A=	VMware vSphere 7 Std (1 CPU、32 Core) 5 年サポートが必要
VMW-VSP-EPL-1A=	VMware vSphere 7 Std (1 CPU、32 Core) 1 年サポートが必要
VMW-VSP-EPL-3A=	VMware vSphere 7 Ent Plus (1 CPU、32 Core) 3 年サポートが必要
VMW-VSP-EPL-5A=	VMware vSphere 7 Std (1 CPU、32 Core) 5 年サポートが必要
VMW-VSP-STD-1S=	VMware vSphere 6 Standard (1 CPU、32 Core)、1 年 VMware SnS が必要
VMW-VSP-STD-3S=	VMware vSphere 6 Standard (1 CPU、32 Core)、3 年 VMware SnS が必要
VMW-VSP-STD-1YR	VMware vSphere 7 Std SnS - 1 年 (PID VMW-VSP-STD-1S= に報告)
VMW-VSP-STD-3YR	VMware vSphere 7 Std SnS - 3 年 (PID VMW-VSP-STD-3S= に報告)
VMW-VSP-EPL-1S=	VMware vSphere 7 EntPlus (1 CPU 32 Core)、1 年 VMware SnS が必要
VMW-VSP-EPL-3S=	VMware vSphere 7 EntPlus (1 CPU 32 Core)、3 年 VMware SnS が必要
VMW-VSP-EPL-1YR	VMware vSphere 7 Enterprise Plus SnS-1 年 (PID VMW-VSP-EPL-1S = に報告)
VMW-VSP-EPL-3YR	VMware vSphere 7 Enterprise Plus SnS-3 年 (PID VMW-VSP-EPL-3S = に報告)
<b>VMware vCenter</b>	
VMW-VCS-STD-1A=	VMware vCenter 7 Server Standard、1 年サポートが必要
VMW-VCS-STD-3A=	VMware vCenter 7 Server Standard、3 年サポートが必要
VMW-VCS-STD-5A=	VMware vCenter 7 Server Standard、5 年サポートが必要
VMW-VCS-STD-1S=	VMware vCenter 7 Server Standard、1 年間の Vmware SnS 要求
VMW-VCS-STD-3S=	VMware vCenter 7 Server Standard、3 年間の Vmware SnS 要求
VMW-VCS-STD-1YR	VMware vCenter 6 サーバー標準規格 SnS- 1 年 (VMW-VCS-STD-1S= に報告)
VMW-VCS-STD-3YR	VMware vCenter 6 サーバー標準規格 SnS- 3 年 (VMW-VCS-STD-3S= に報告)

表 31 スペア部品 (続き)

製品 ID (PID)	PID の説明
VMW-VCS-FND-1A=	VMware vCenter Server 7 Foundation (4 ホスト)、1 年サポートが必要
VMW-VCS-FND-3A=	VMware vCenter Server 7 Foundation (4 ホスト)、3 年サポートが必要
VMW-VCS-FND-5A=	VMware vCenter Server 7 Foundation (4 ホスト)、5 年サポートが必要
VMW-VCS-FND-1S=	VMware vCenter Server 7 Foundation (4 ホスト)、1 年 VM SnS が必要
VMW-VCS-FND-3S=	VMware vCenter Server 7 Foundation (4 ホスト)、3 年 VM SnS が必要
VMW-VCS-FND-1YR	VMware vCenter Server 6 Foundation (4 ホスト) SnS - 1 年 (PID VMW-VCS-FND-1S= に報告)
VMW-VCS-FND-3YR	VMware vCenter Server 6 Foundation (4 ホスト) SnS - 3 年 (PID VMW-VCS-FND-3S= に報告)
<b>VMware vSphere のアップグレード</b>	
VMW-VSS2VSP-1A=	アップグレード : vSphere 7 Std から vSphere 7 Ent Plus (1 年間のサポート)
VMW-VSS2VSP-3A=	アップグレード : vSphere 7 Std から vSphere 7 Ent Plus (1 年間のサポートが必要)

注 :

1. UCS-CPU-I8351N CPU の最大数は 1
2. UCS-CPU-I6314U CPU の最大数は 1
3. UCS-CPU-I6312U CPU の最大数は 1

取り付け手順については、「[UCS B200 M6 の設置ガイド](#)」を参照してください。



## CPU のアップグレードまたは交換



注：CPU を保守する前に、次の手順を実行します。

- デコミッションしてから、サーバの電源をオフにします。
- B200 M6 をシャーシから引き出します。
- 上部カバーを取り外します。

既存の CPU を交換するには、次の手順を実行します。

(1) 手順で使用可能な次のツールと資材を用意します。

- T-30 トルクス ドライバ (交換用 CPU に同梱されています)。
- #1 マイナス ドライバ (交換用 CPU に同梱されています)。
- CPU アセンブリ ツール (交換用 CPU に同梱されています)。Cisco PID UCS-CPUAT= として別途選択できます。
- ヒートシンク クリーニング キット：交換用 CPU に付属しています。Cisco PID UCSX-HSCK= として別途選択できます。
- サーマル インターフェイス マテリアル (TIM)：交換用 CPU に付属しているシリンジ。Cisco PID UCS-CPU-TIM= として別途選択できます。

(2) [使用可能な CPU ページ 9](#) から適切な交換用 CPU を発注します。

(3) 「Cisco UCS B200 M6 ブレード インストール設置およびサービス ガイド」に記載されている手順 (次の URL のリンク先を参照) に従って、CPU とヒートシンクを慎重に取り外して交換します。

[https://www.cisco.com/content/en/us/td/docs/unified\\_computing/ucs/hw/blade-servers/B200M6.html](https://www.cisco.com/content/en/us/td/docs/unified_computing/ucs/hw/blade-servers/B200M6.html)

新しい CPU を追加するには、次の手順を実行します。

(1) 手順で使用可能な次のツールと資材を用意します。

- T-30 トルクスドライバ (新しい CPU に同梱されています)。
- #1 マイナス ドライバ (新しい CPU に同梱されています)。
- CPU アセンブリ ツール (新しい CPU に同梱されています)。Cisco PID UCS-CPUAT= として個別に発注できます。
- サーマル インターフェイス マテリアル (TIM) (交換用 CPU に同梱されているシリンジ)。Cisco PID UCS-CPU-TIM= として個別に発注できます。

(2) [表 3 \(9 ページ\)](#) から適切な新しい CPU を注文します。

(3) 新しい CPU ごとにヒートシンクを 1 つ発注します。前面 CPU ソケットは PID UCSB-HS-M6-F=、背面 CPU ソケットは PID UCSB-HS-M6-R= を発注します。

(4) 「Cisco UCS B200 M6 ブレード サーバ インストール / サービス ノート」  
([https://www.cisco.com/content/en/us/td/docs/unified\\_computing/ucs/hw/blade-servers/B200\\_M6.html](https://www.cisco.com/content/en/us/td/docs/unified_computing/ucs/hw/blade-servers/B200_M6.html)) に記載されている手順に従って、CPU とヒートシンクを慎重に取り付けます。

## メモリのアップグレードまたは交換



注： DIMM または PMEM を保守する前に、次を行います。

- デコミッションしてから、サーバの電源をオフにします。
- サーバの上部カバーを外します。
- サーバをシャーシの前面から引き出します。

DIMM や PMem を追加または交換するには、次の手順を実行します。

ステップ 1 両側の DIMM コネクタ ラッチを開きます。

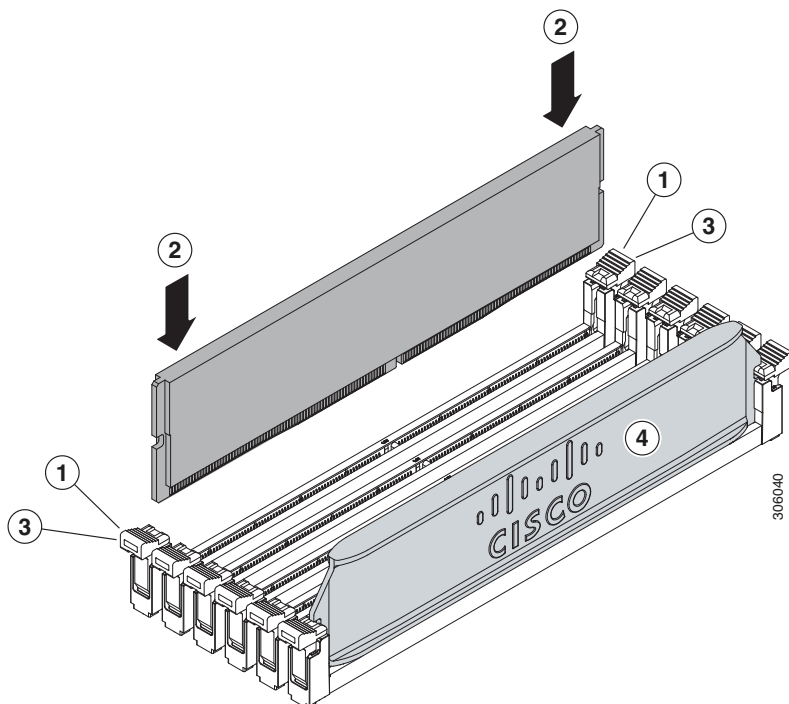
ステップ 2 カチッという音がするまで、DIMM の両端を均等にスロットに押し込みます。

注： DIMM のノッチがスロットに合っていることを確認します。ノッチが合っていないと、DIMM またはスロット、あるいはその両方が破損するおそれがあります。

ステップ 3 DIMM コネクタ ラッチを内側に少し押し、ラッチを完全にかけます。

ステップ 4 すべてのスロットに DIMM または DIMM ブランクを装着します。スロットを空にすることはできません。

図 5 メモリの交換





**注意：**黄色のラッチが付いたソケットに取り付けられた DIMM は、白色のラッチが付いたソケットの DIMM/PMem に対して 180 度回転します。DIMM/PMem の損傷を防ぐため、挿入する前に DIMM/PMem のノッチ キーをソケットのキーに合わせてください。

---

DIMM の交換またはアップグレードの詳細については、「Cisco UCS B200 M6 ブレード サーバ設置 / サービス ノート」

([https://www.cisco.com/content/en/us/td/docs/unified\\_computing/ucs/hw/blade-servers/B200M6.html](https://www.cisco.com/content/en/us/td/docs/unified_computing/ucs/hw/blade-servers/B200M6.html))

## 販売終了 (EOL) 製品

以下は、以前この製品で使用可能でしたが、すでに販売停止している部品の一覧です。まだサポートされているかを確認するには、表 36 の EOL アナウンスリンクを参照してください。

表 32 EOS

製品 ID	説明	EOL/EOS リンク
<b>オペレーティング システム</b>		
SLES-2SUV-1A	SUSE Linux Enterprise Server (1 ~ 2 CPU、VM 無制限)、1 年サポートが必要	
SLES-2SUV-1S	SUSE Linux Enterprise Server (1 ~ 2 CPU、VM 無制限)、優先 1 年 SnS	
SLES-2SUV-3A	SUSE Linux Enterprise Server (1 ~ 2 CPU、VM 無制限)、3 年サポートが必要	
SLES-2SUV-3S	SUSE Linux Enterprise Server (1 ~ 2 CPU、VM 無制限)、優先 3 年 SnS	
SLES-2SUV-5A	SUSE Linux Enterprise Server (1 ~ 2 CPU、VM 無制限)、5 年サポートが必要	
SLES-2SUV-5S	SUSE Linux Enterprise Server (1 ~ 2 CPU、VM 無制限)、優先 5 年 SnS	
SLES-SAP-2SUV-1A	SUSE Linux Enterprise Server for SAP Applications HA 付き (1 ~ 2 CPU、VM 無制限)、1 年サポートが必要	
SLES-SAP-2SUV-1S	SAP アプリケーション用 SLES (1 ~ 2 CPU、VM 無制限)、優先 1 年 SnS	
SLES-SAP-2SUV-3A	SUSE Linux Enterprise Server for SAP Applications HA 付き (1 ~ 2 CPU、VM 無制限)、3 年サポートが必要	
SLES-SAP-2SUV-3S	SAP アプリケーション用 SLES (1 ~ 2 CPU、VM 無制限)、優先 3 年 SnS	
SLES-SAP-2SUV-5A	SUSE Linux Enterprise Server for SAP Applications HA 付き (1 ~ 2 CPU、VM 無制限)、5 年サポートが必要	
SLES-SAP-2SUV-5S	SAP アプリケーション用 SLES (1 ~ 2 CPU、VM 無制限)、優先 5 年 SnS	

## 技術仕様

### 寸法と重量

表 33 UCS B200 M6 の寸法と重量

パラメータ	値
高さ	50 mm (1.95 インチ)
幅	212 mm (8.35 インチ)
奥行	620 mm (24.4 インチ)
重量	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ サーバ本体の重量 = 4.54 kg (10.0 ポンド) (HDD なし、CPU なし、DIMM なし、メザニン アダプタまたはメモリなし)</li> <li>■ 最小構成のサーバの重量 = 4.57 kg (10.08 ポンド) (HDD なし、CPU X 2、DIMM X 2、VIC 1440、追加のメザニン アダプタなし)</li> <li>■ 最大構成のサーバの重量 = 8.23 kg (18.14 ポンド) (HDD X 2、CPU X 2、DIMM X 32、VIC 1440、追加のメザニン アダプタを両方装着)</li> </ul>

### 電力仕様

構成固有の電力仕様については、次のページにある Cisco UCS Power Calculator を使用してください。

<http://ucspowercalc.cisco.com> [ 英語 ]



注：B200 M6 には、コンポーネント（CPU、DIMM、ドライブなど）のすべての組み合わせに対して 960 ワットの電力上限があります。

#### シスコ コンタクトセンター

自社導入をご検討されているお客様へのお問い合わせ窓口です。

製品に関して | サービスに関して | 各種キャンペーンに関して | お見積依頼 | 一般的なご質問

#### お問い合わせ先

お電話での問い合わせ

平日 9:00 - 17:00

0120-092-255

お問い合わせウェブフォーム

[cisco.com/jp/go/vdc\\_callback](https://cisco.com/jp/go/vdc_callback)



©2022 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco, Cisco Systems, および Cisco Systems ロゴは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における商標登録または商標です。本書類またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。「パートナー」または「partner」という用語の使用は Cisco と他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(1502R) この資料の記載内容は 20XX 年 X 月現在のものです。この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー  
cisco.com/jp